

愛鷹（池の平）林道外 1

災害復旧工事

設計図

分 類	林道	規 格	2 級 (B)
位 置	静岡県沼津市足高 愛鷹山国有林432り林小班外		
延 長	池ノ平 94.8 m	国有林内	94.8 m
	愛鷹 50.0	国有林外	50.0 m
巾 員	3.6 m	最小半径	25.0 m
勾 配	最 急	平 均	設 計 荷 重 14.0 t
	11.00 %	- %	

静岡森林管理署

令和6年12月、令和7年7月測量

位置図

縮尺 S=1:20,000

工事名：愛鷹（池ノ平）林道外1災害復旧工事

所在地：静岡県沼津市足高 愛鷹山国有林432り林小班外

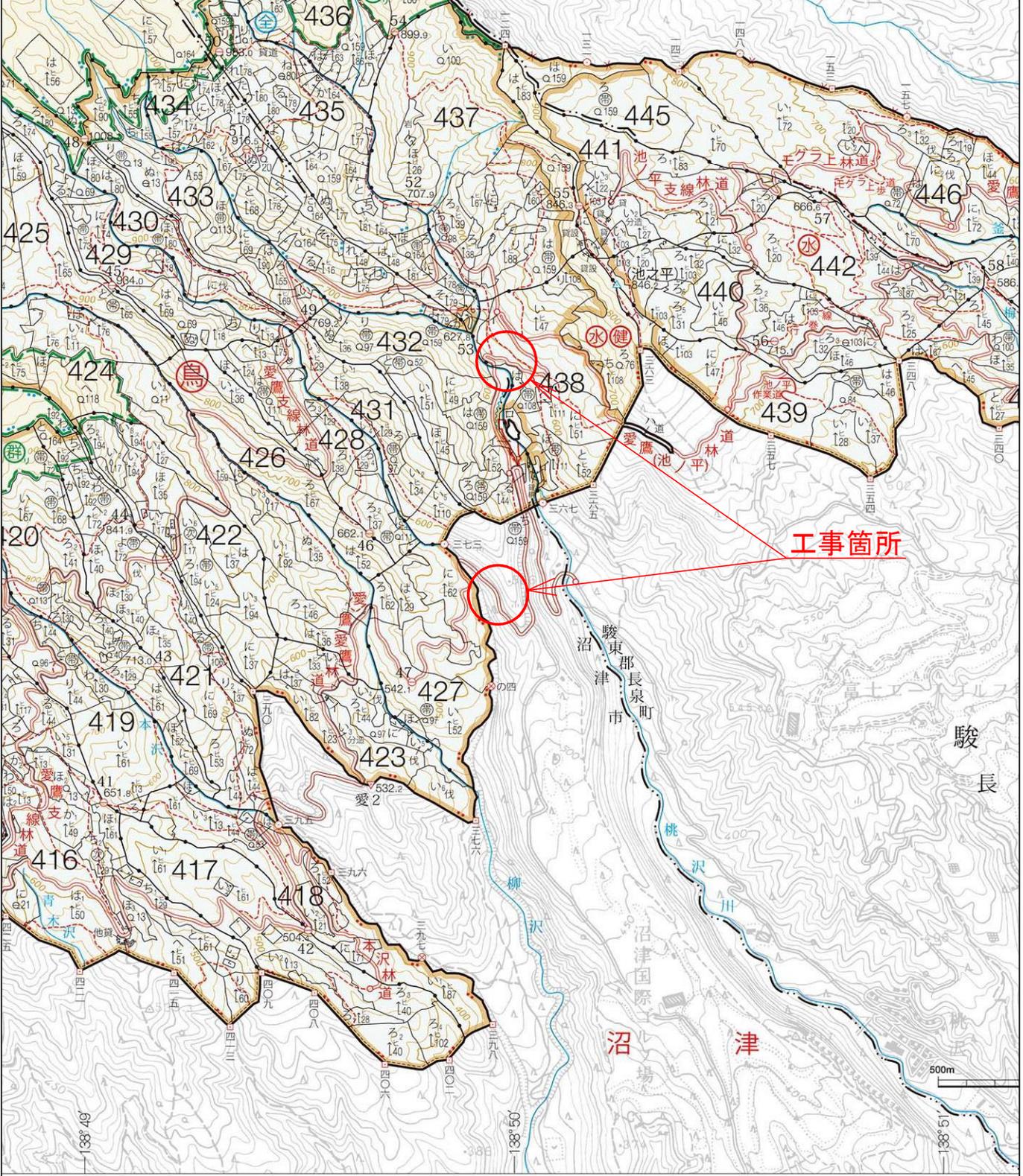


S=1:20,000

水健
450

自然環境保全地域

工事箇所



500m

駿
長

沼
津

愛鷹（池の平）林道外 1

災害復旧工事

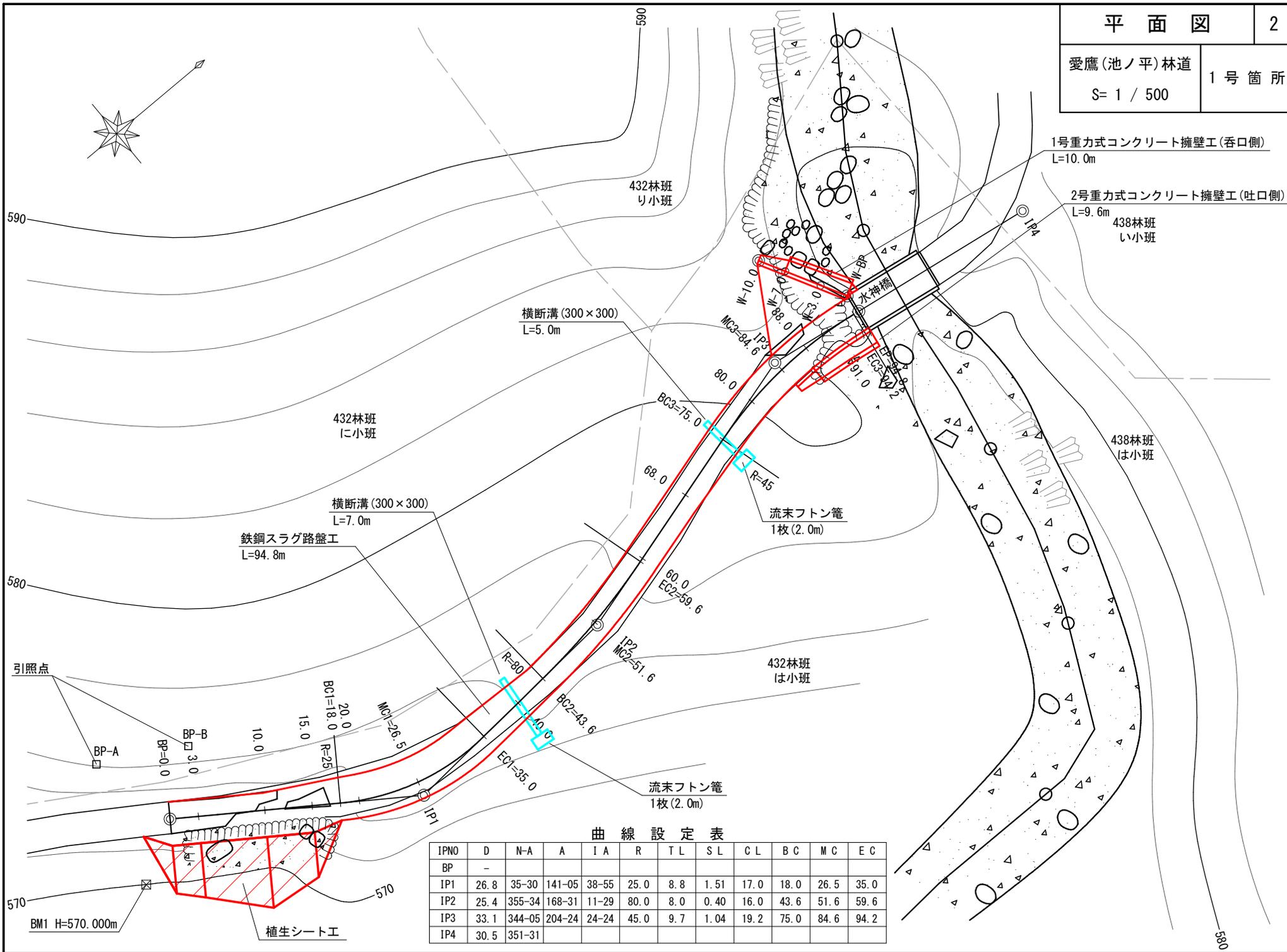
1 工区設計図

(愛鷹（池ノ平）林道)

分類	林道	規格	2級 (B)		
位置	静岡県沼津市足高 愛鷹山国有林432り林小班外				
延長	94.8	m	国有林内	94.8	m
			国有林外	0.0	m
巾員	3.6	m	最小半径	25.0	m
勾配	最急	平均	設計荷重	14.0	t
	11.00 %	- %			

静岡森林管理署

令和6年12月 測量



曲線設定表

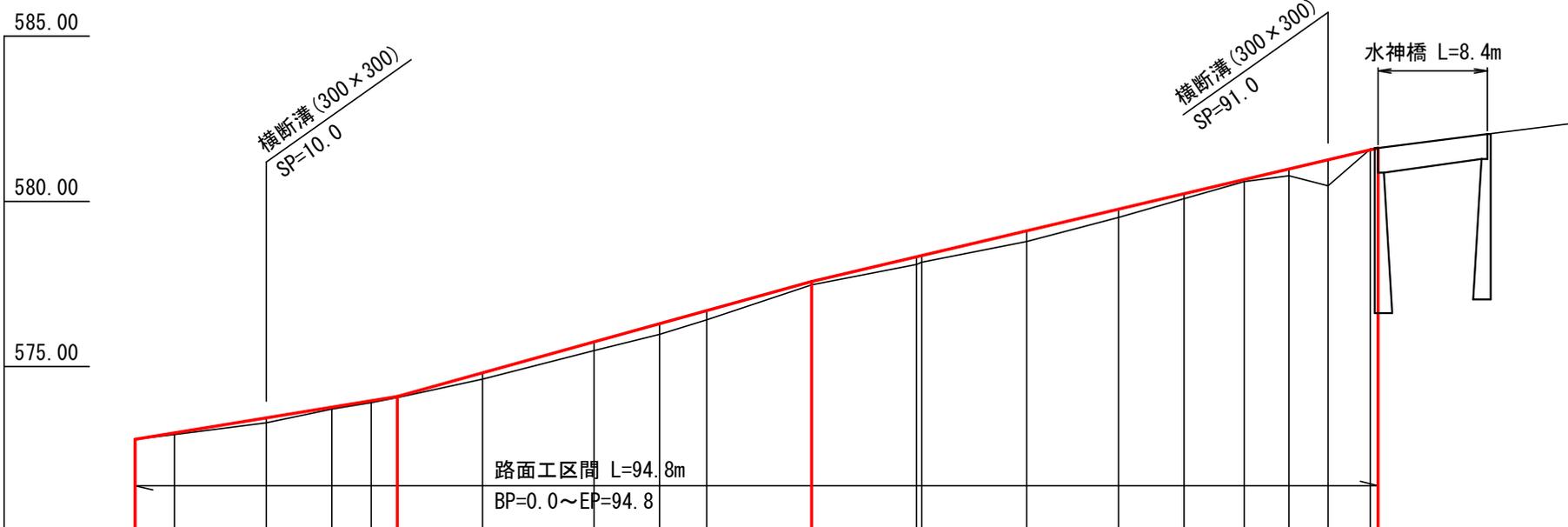
IPNO	D	N-A	A	I A	R	TL	SL	CL	BC	MC	EC
BP	-										
IP1	26.8	35-30	141-05	38-55	25.0	8.8	1.51	17.0	18.0	26.5	35.0
IP2	25.4	355-34	168-31	11-29	80.0	8.0	0.40	16.0	43.6	51.6	59.6
IP3	33.1	344-05	204-24	24-24	45.0	9.7	1.04	19.2	75.0	84.6	94.2
IP4	30.5	351-31									

580

縦断面図 1

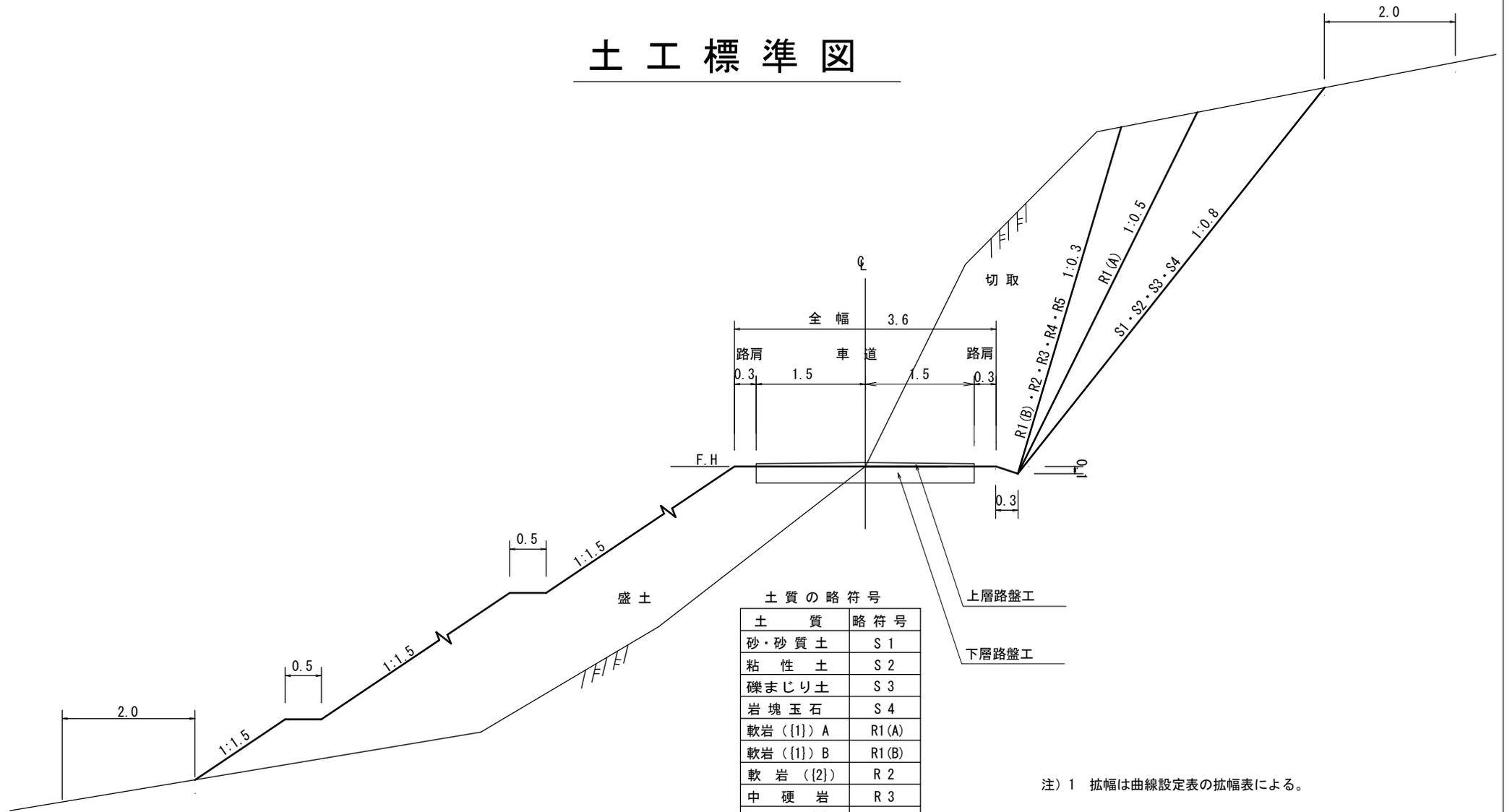
愛鷹(池ノ平)林道
 S 縦 = 1 / 200
 横 = 1 / 500
 1号箇所

BM1 H=570.000m



勾配	6.50 20.0 11.00 31.6 9.35 43.2 5.00																				
盛土高	0.00	0.05	0.15	0.06	0.06	0.04	0.20	0.26	0.32	0.28	0.10	0.24	0.21	0.32	0.25	0.16	0.07	0.20	0.79	0.00	0.00
切土高	0.00																			0.02	0.00
施工基面高	572.80	573.00	573.45	573.78	573.97	574.10	574.82	575.75	576.30	576.70	577.58	578.33	578.37	579.11	579.77	580.24	580.67	580.98	581.26	581.56	581.62
地盤高	572.80	572.95	573.30	573.72	573.91	574.06	574.62	575.49	575.98	576.42	577.48	578.09	578.16	578.79	579.52	580.08	580.60	580.78	580.47	581.58	581.62
測点	BP=0.0	3.0	10.0	15.0	BC1=18.0	20.0	MC1=26.5	EC1=35.0	40.0	BC2=43.6	MC2=51.6	EC2=59.6	60.0	68.0	BC3=75.0	80.0	MC3=84.6	88.0	91.0	EC3=94.2	EP=94.8
曲線							IP. 1 R=25				IP. 2 R=80						IP. 3 R=45				

土工標準図



土質の略符号

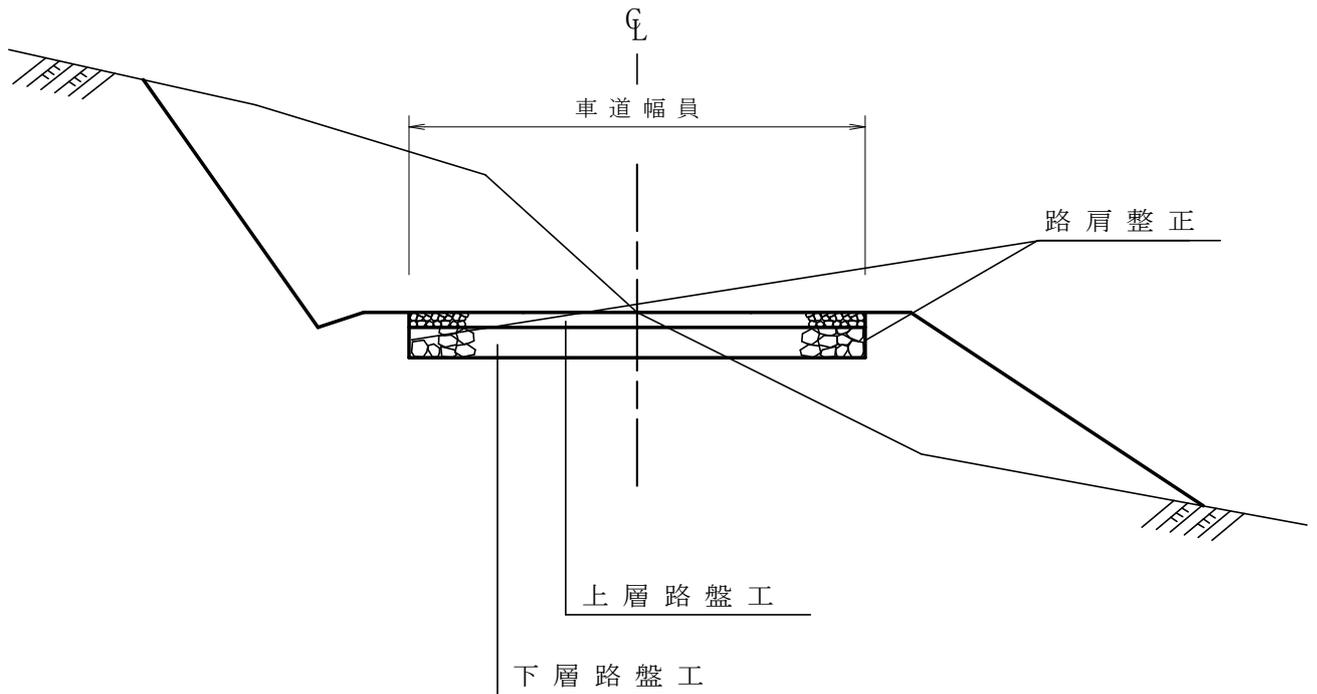
土質	略符号
砂・砂質土	S 1
粘性土	S 2
礫まじり土	S 3
岩塊玉石	S 4
軟岩 (1) A	R 1 (A)
軟岩 (1) B	R 1 (B)
軟岩 (2)	R 2
中硬岩	R 3
硬岩 (1)	R 4
硬岩 (2)	R 5

注) 盛土高おおむね1.5mまでの場合は1.2割とすることができる。

注) 1 拡幅は曲線設定表の拡幅表による。
 2 上層路盤工及び下層路盤工の厚さは別途指示する。

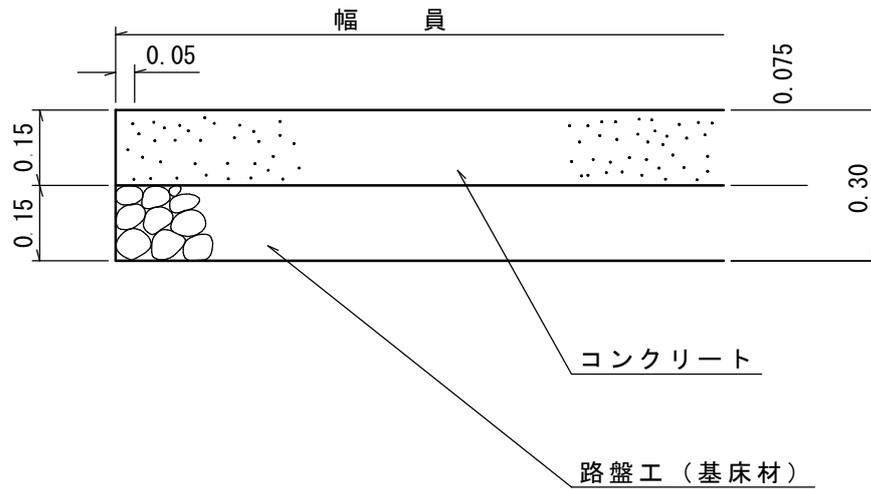
路肩整正

S=1:50



鉄鋼スラグ路盤工 標準図

S=1 : free



100m²当り

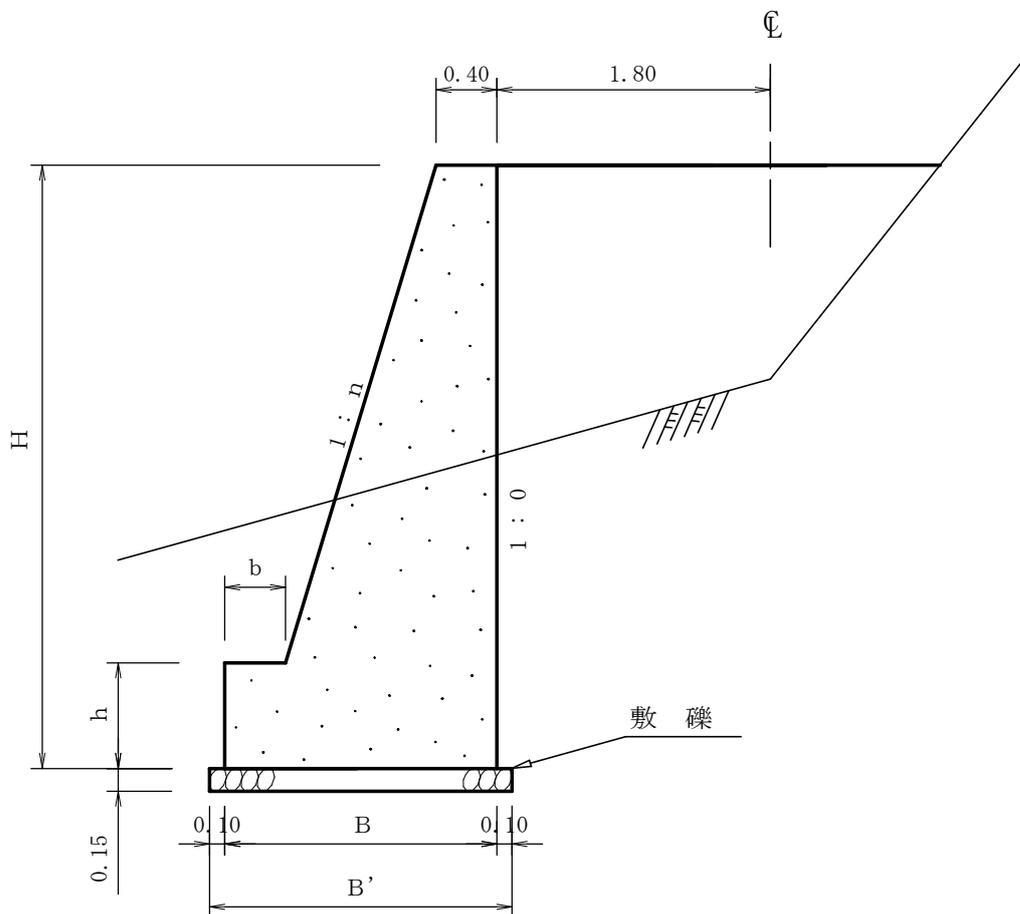
材 料 表		
名 称	数 量	品 質・規 格
鉄鋼スラグ路盤材	15.00m ³	鉄鋼スラグ路盤材
路盤工	15.00m ³	再生碎石 (RC-40)

* 路盤材は路床土の設計CBRが3以上である場合不要。
路盤材の厚さは路床土の設計CBRを実施して決定すること。

重力式コンクリート擁壁工

S=1:free

GW-L-I



寸法表

設計区分 (b-S)

設計区分 (b-R)

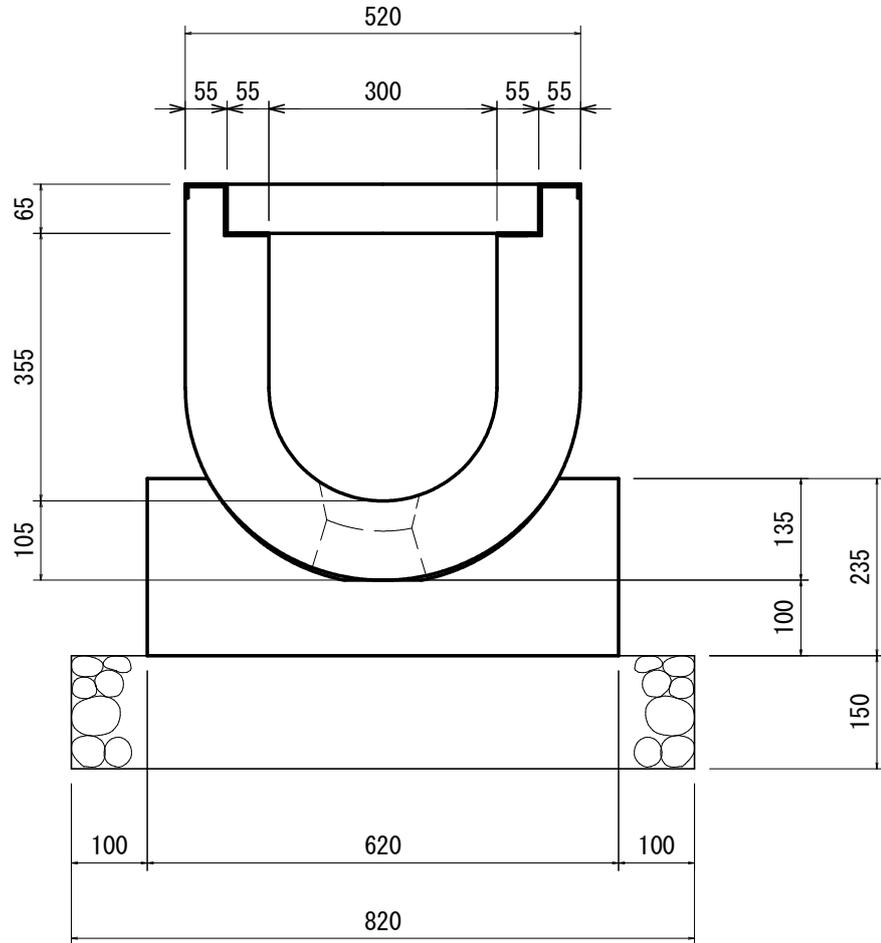
H	n	B	b	h	B'	H	n	B	b	h
2.000	0.150	0.940	0.300	0.400	1.140	2.000	0.150	0.940	0.300	0.400
2.500	0.200	1.100	0.300	0.500	1.300	2.500	0.150	1.000	0.300	0.500
3.000	0.200	1.200	0.300	0.500	1.400	3.000	0.200	1.200	0.300	0.500
3.500	0.200	1.380	0.400	0.600	1.580	3.500	0.200	1.300	0.300	0.500
4.000	0.250	1.700	0.450	0.600	1.900	4.000	0.200	1.450	0.350	0.500
4.500	0.250	1.800	0.450	0.700	2.000	4.500	0.250	1.750	0.350	0.500
5.000	0.300	2.110	0.450	0.800	2.310	5.000	0.250	1.850	0.350	0.600
5.500	0.300	2.260	0.450	0.800	2.460	5.500	0.250	2.000	0.400	0.700
6.000	0.300	2.410	0.450	0.800	2.610	6.000	0.250	2.100	0.400	0.800
6.500	0.300	2.560	0.450	0.800	2.760	6.500	0.250	2.200	0.400	0.900
7.000	0.300	2.710	0.450	0.800	2.910	7.000	0.250	2.450	0.550	1.000
7.500	0.300	2.860	0.450	0.800	3.060	7.500	0.250	2.600	0.600	1.100
8.000	0.300	2.980	0.450	0.900	3.180	8.000	0.250	2.750	0.650	1.200

註) b-Rの場合は敷礫は設計しない。

縦断勾配対応型横断溝

S=1:10 (単位mm)

FR横断側溝 300A 相当



材料表

(10.0m当り)

名称	規格	計算式	単位	数量
横断側溝	300A	$10.0 \div 1.0$	個	10.0
グレーチング蓋	300A	$10.0 \div 1.0$	枚	10.0
ベース	300A用	L=1.0mと1.5mの組合せ	m	10.0
基礎材 (t=150)	RC-40	0.820×10.0	m ²	8.20

※合成勾配15%以下で設置すること。

横断面図

1

愛鷹(池ノ平)林道

1号箇所

S= 1 / 100

3.0

+0.05

S3 CA= 0.3
BA= 5.3

L=6.8

1:1.5

DL=570.00

BP=0.0

±0.00

S3 CA= 0.8
BA= 1.5

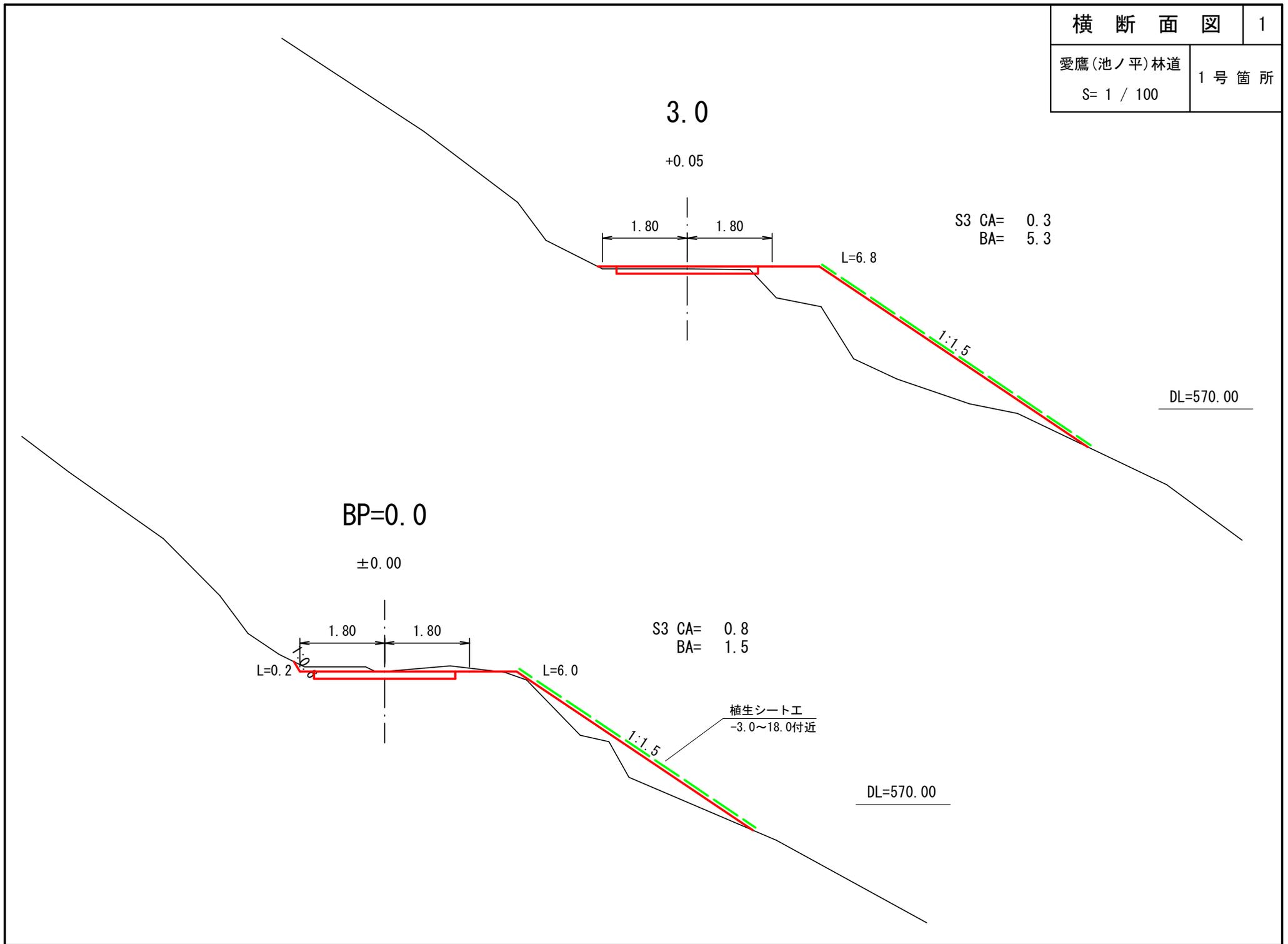
L=0.2

L=6.0

1:1.5

植生シート工
-3.0~18.0付近

DL=570.00



15.0

+0.06

2.34

1.80

L=5.6

S3 CA= 0.2

BA= 6.4

転石

1:1.5

DL=570.00

10.0

+0.15

1.80

1.80

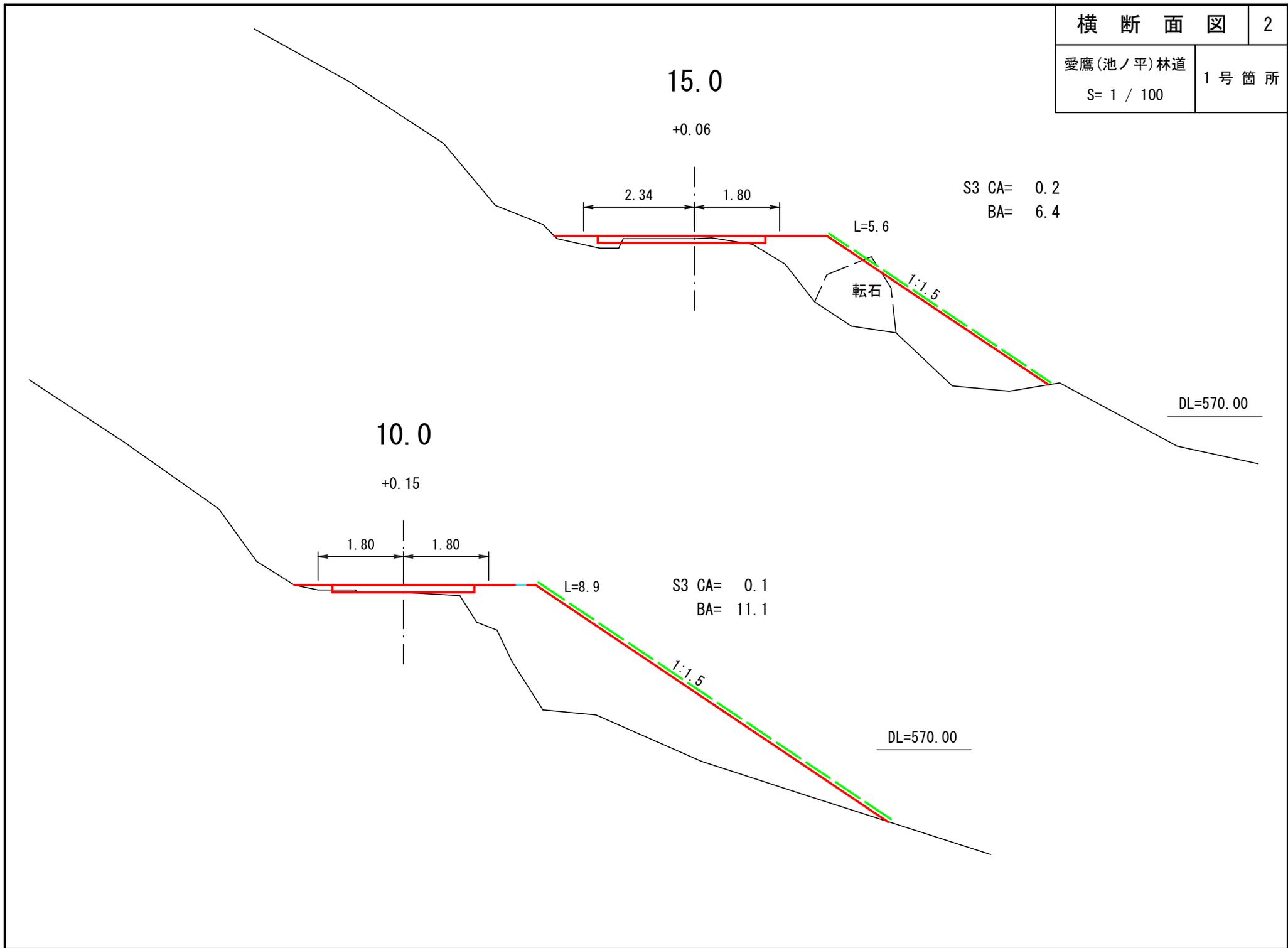
L=8.9

S3 CA= 0.1

BA= 11.1

1:1.5

DL=570.00

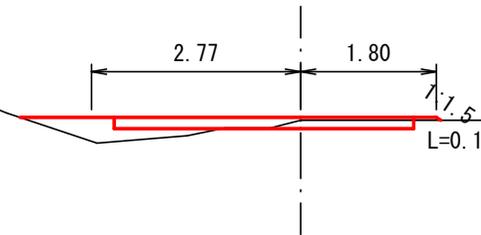


20.0

+0.04

S3 CA= 0.2

BA= 0.4



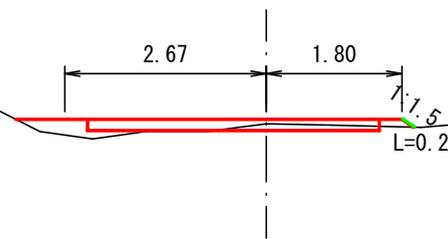
DL=570.00

BC1=18.0

+0.06

S3 CA= 0.1

BA= 0.2



DL=570.00

EC1=35.0

+0.26

S3 CA= 0.2

BA= 1.2

2.67 1.80

DL=575.00

MC1=26.5

+0.20

S3 CA= 0.1

BA= 1.4

2.80 1.80

1:1.5

L=0.2

DL=570.00

BC2=43.6

+0.28

S3 CA= 0.1

BA= 0.3



DL=575.00

40.0

+0.32

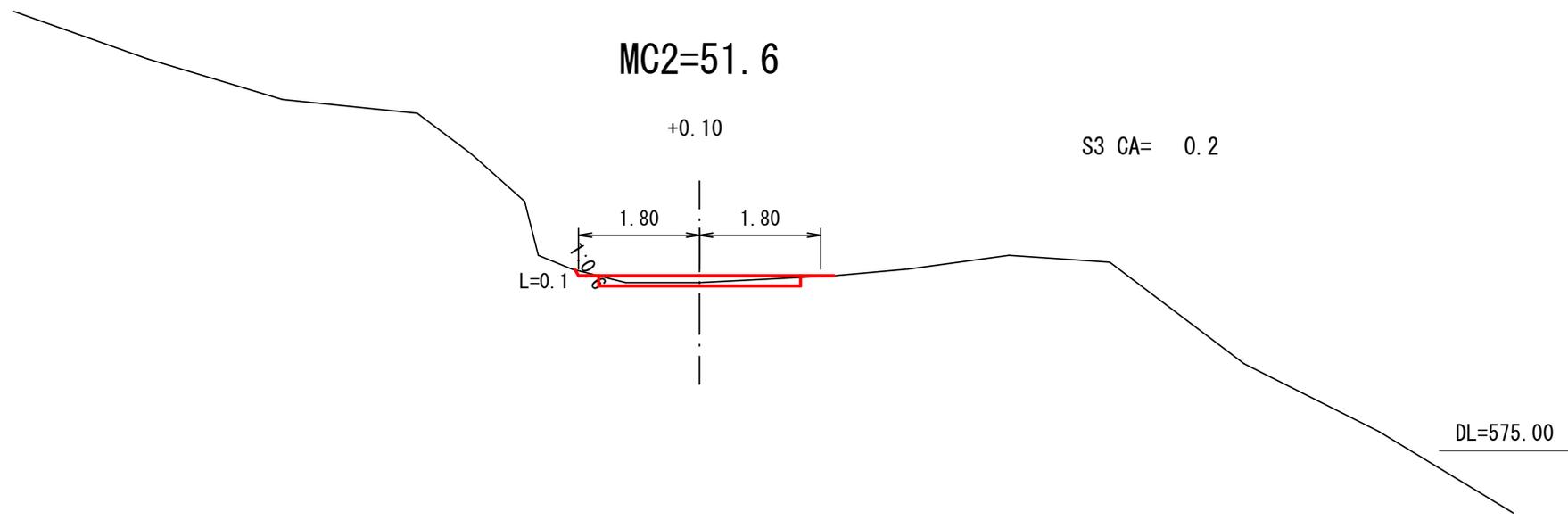
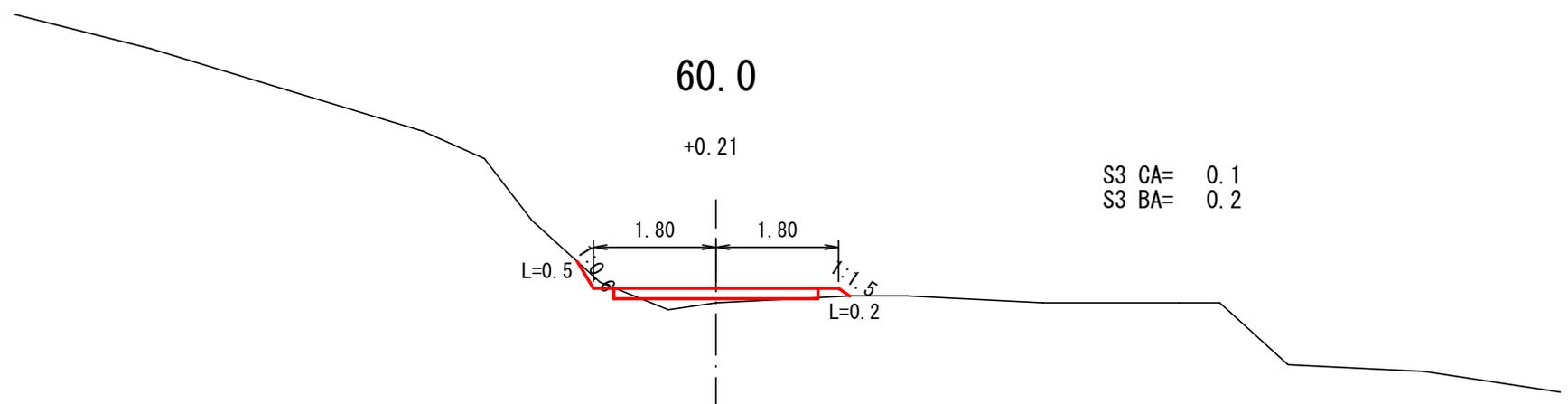
S3 CA= 0.1

BA= 1.2



横断溝
(300×300) L=7.0m

DL=575.00



BC3=75.0

+0.25

BA= 1.2

DL=580.00

横断溝
(300×300) L=5.0m

1.80 2.03

1:1.5

L=1.2

68.0

+0.32

S3 CA= 0.1

BA= 0.5

DL=580.00

1.80 1.83

1:1.5

1:1.5

L=0.1

L=0.4

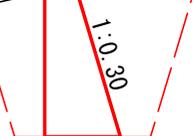
MC3=84.6

+0.07

S3 CA= 0.4

1.80 2.05

DL=580.00



GW-L-I (b-S)
H=2.00m
CA=4.6
S3CA=2.3
S4CA=2.3
RA=3.3

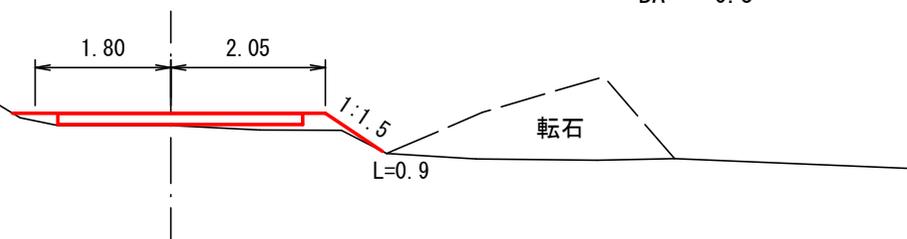
80.0

+0.16

BA= 0.3

1.80 2.05

DL=580.00



転石

L=0.9

91.0

+0.79

4.97

1.80

2.05

BA= 5.1

DL=580.00

1.4

GW-L-I (b-S)
H=5.00m
CA=11.4
S3CA=5.7
S4CA=5.7
RA=6.7

S3 CA= 8.5
BA= 0.3

88.0

+0.20

L=2.1

1:0.6

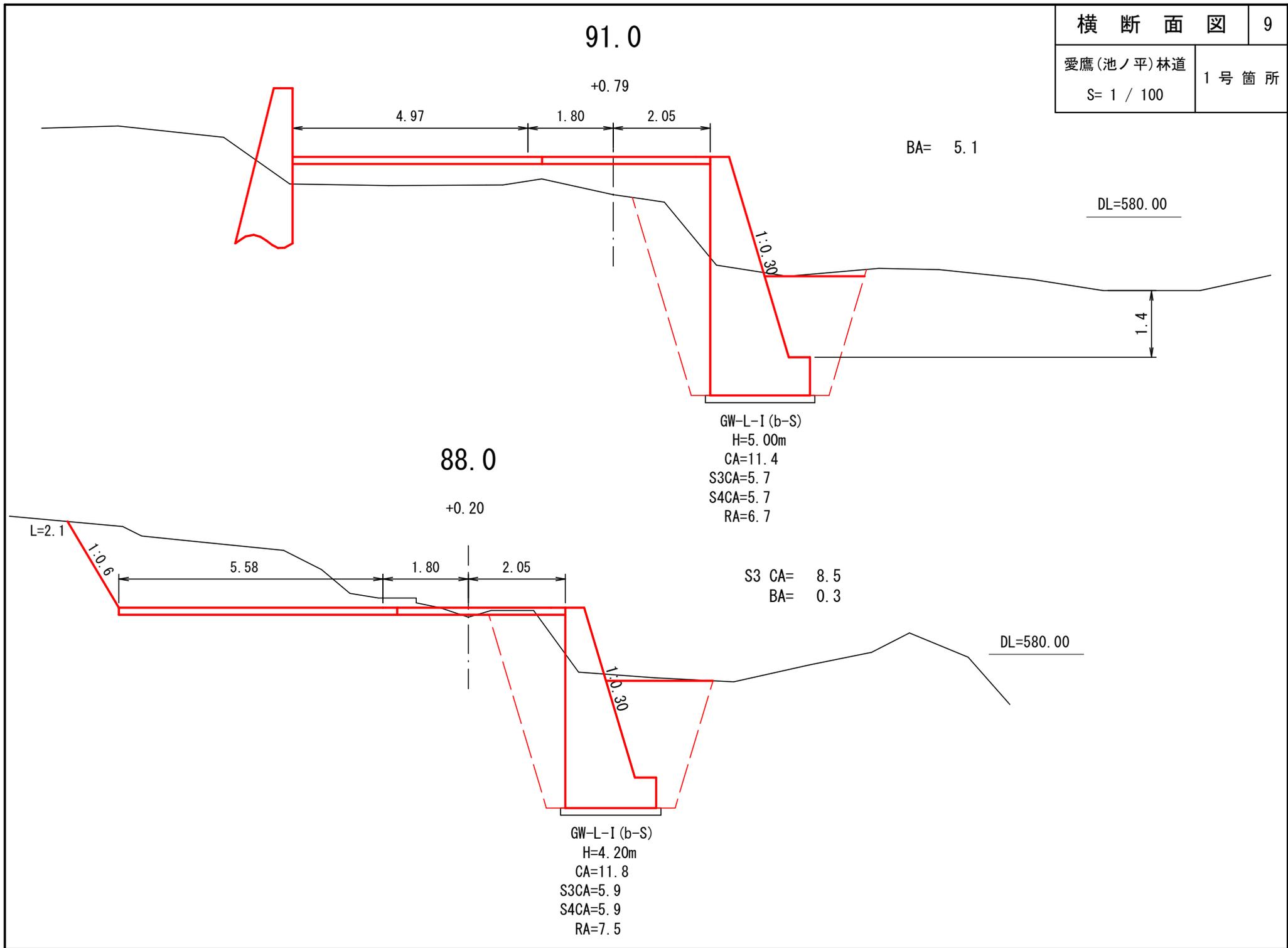
5.58

1.80

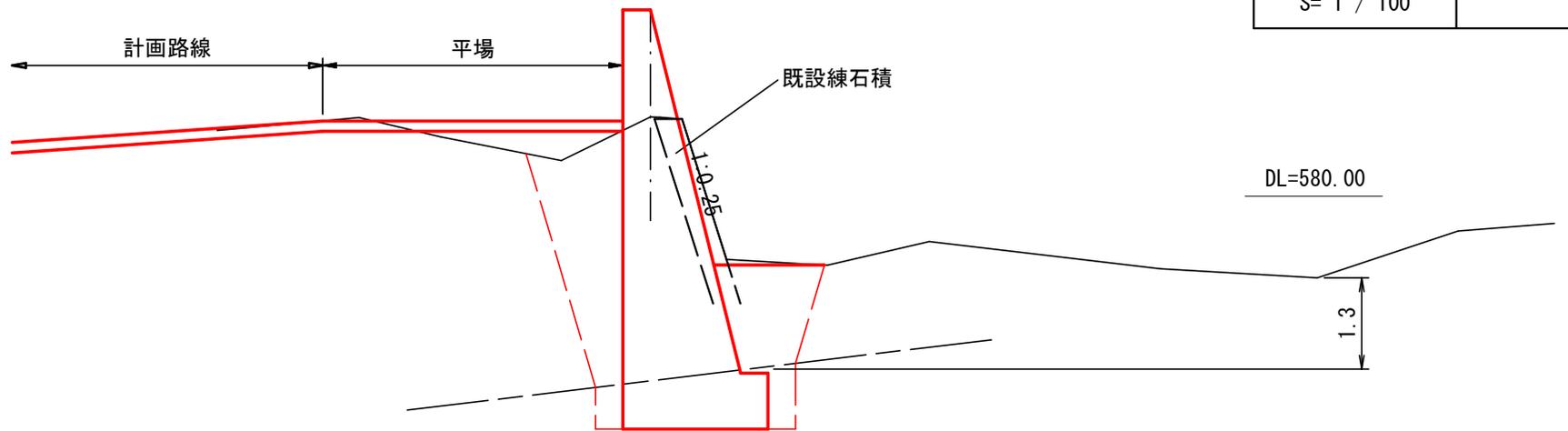
2.05

DL=580.00

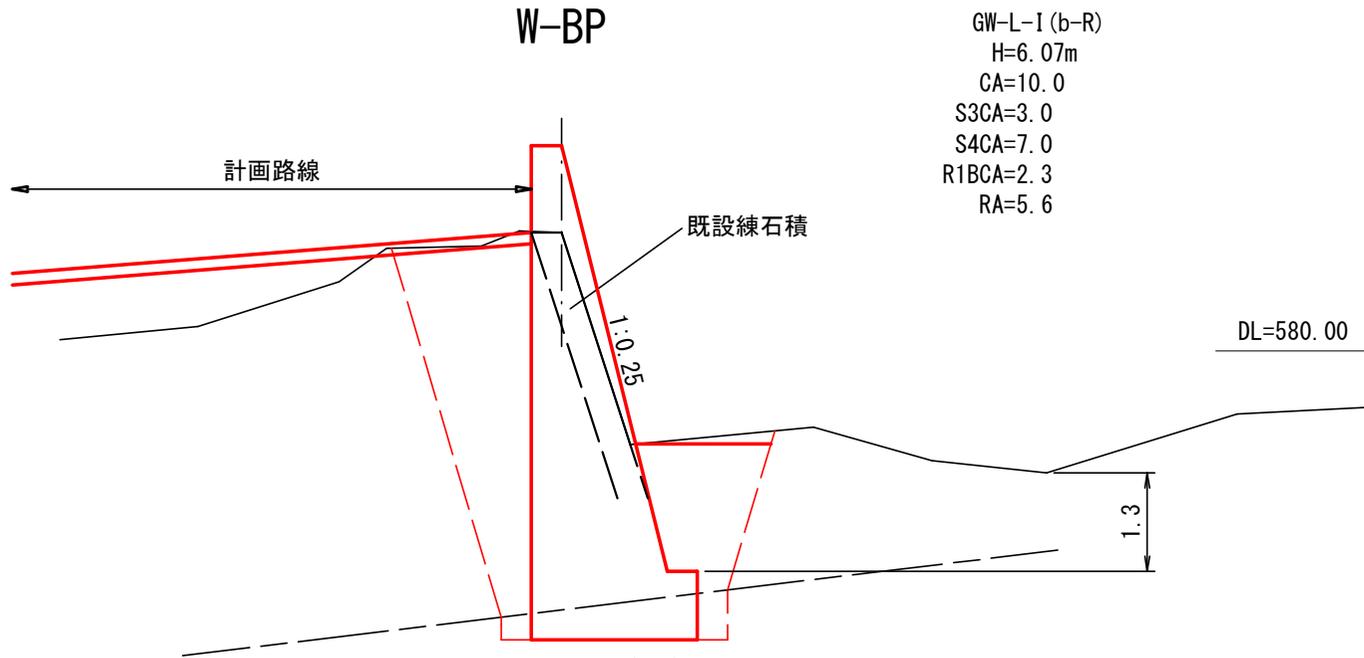
GW-L-I (b-S)
H=4.20m
CA=11.8
S3CA=5.9
S4CA=5.9
RA=7.5



W-3.0



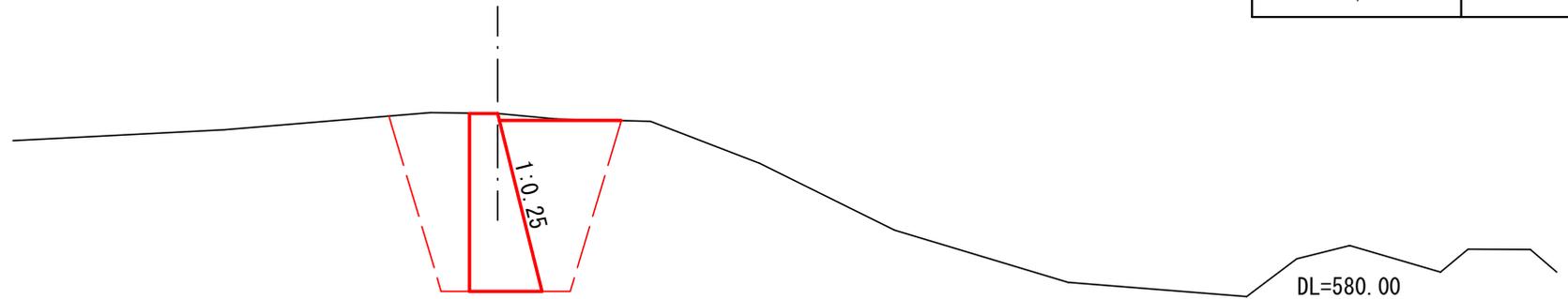
W-BP



GW-L-I (b-R)
 H=6.07m
 CA=10.0
 S3CA=3.0
 S4CA=7.0
 R1BCA=2.3
 RA=5.6

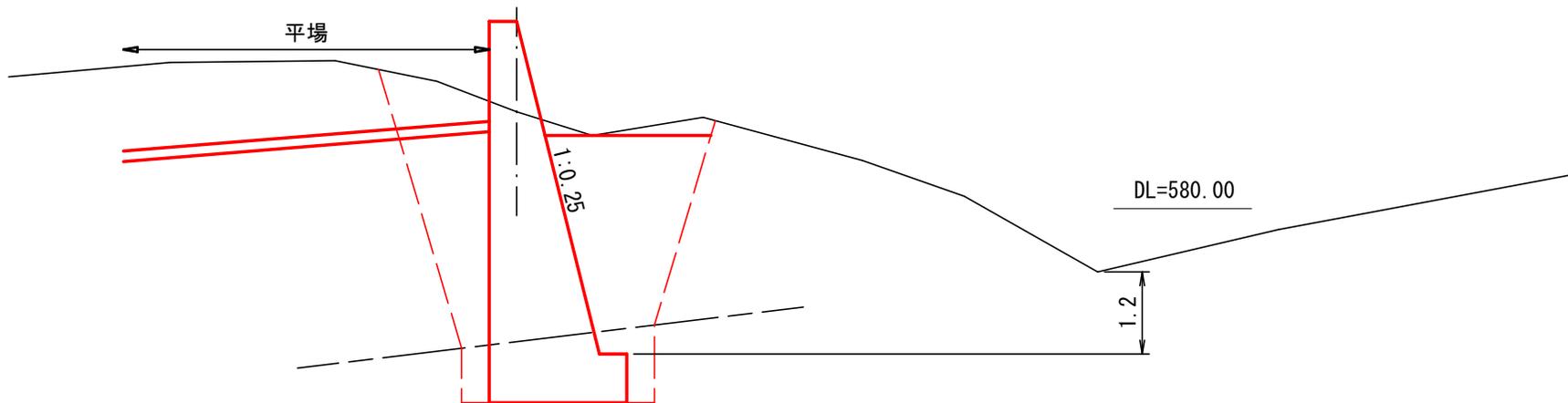
GW-L-I (b-R)
 H=6.50m
 CA=14.0
 S3CA=4.4
 S4CA=9.6
 R1BCA=1.4
 RA=8.2

W-10.0



GW-L-I (b-R)
 H=2.50m
 CA=6.3
 S3CA=1.9
 S4CA=4.4
 RA=4.5

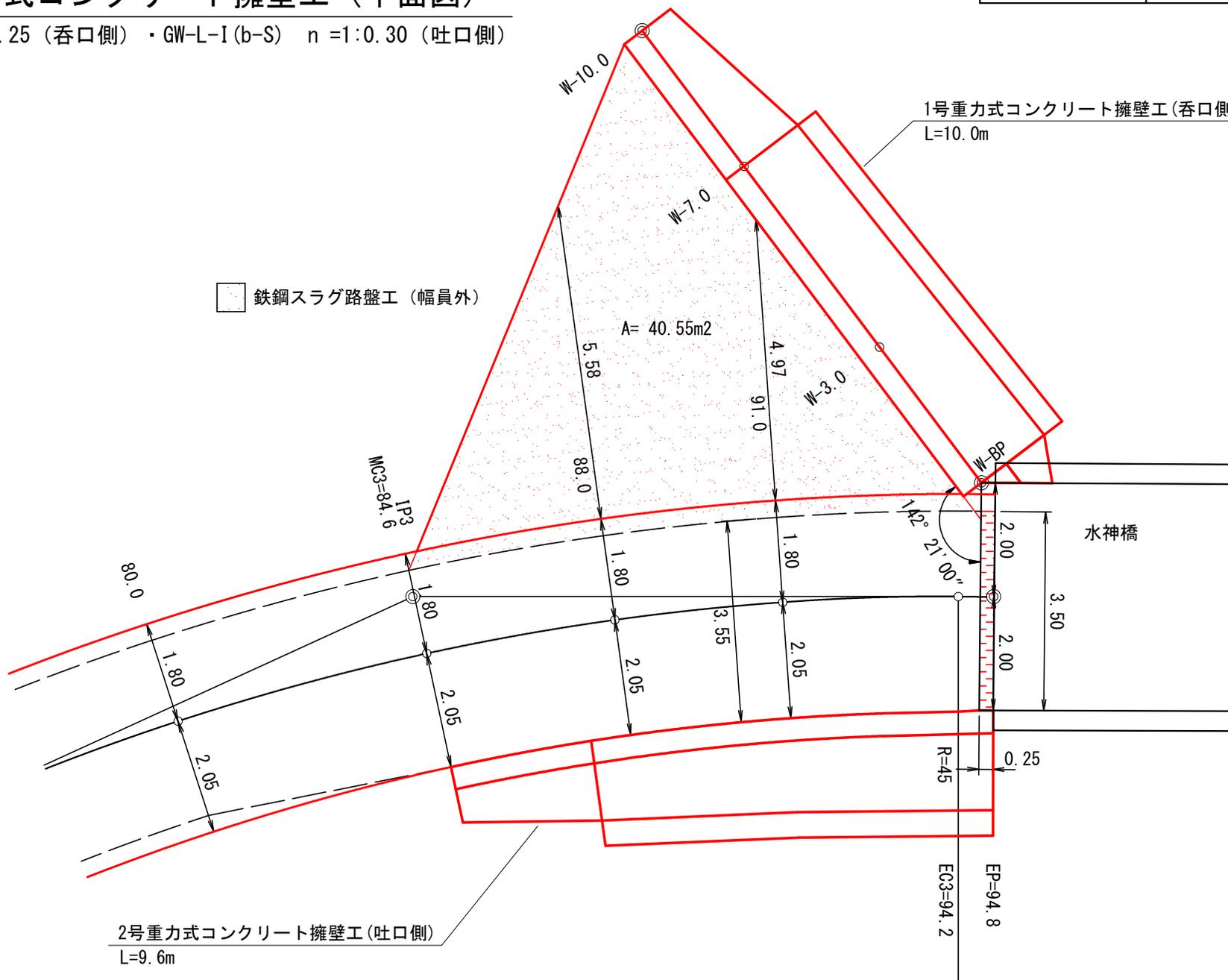
W-7.0



GW-L-I (b-R)
 H=5.50m
 CA=15.0
 S3CA=7.9
 S4CA=8.1
 R1BCA=2.7
 RA=8.1

1号・2号重力式コンクリート擁壁工 (平面図)

GW-L-I (b-R) n = 1:0.25 (呑口側) ・ GW-L-I (b-S) n = 1:0.30 (吐口側)



鉄鋼スラグ路盤工 (幅員外)

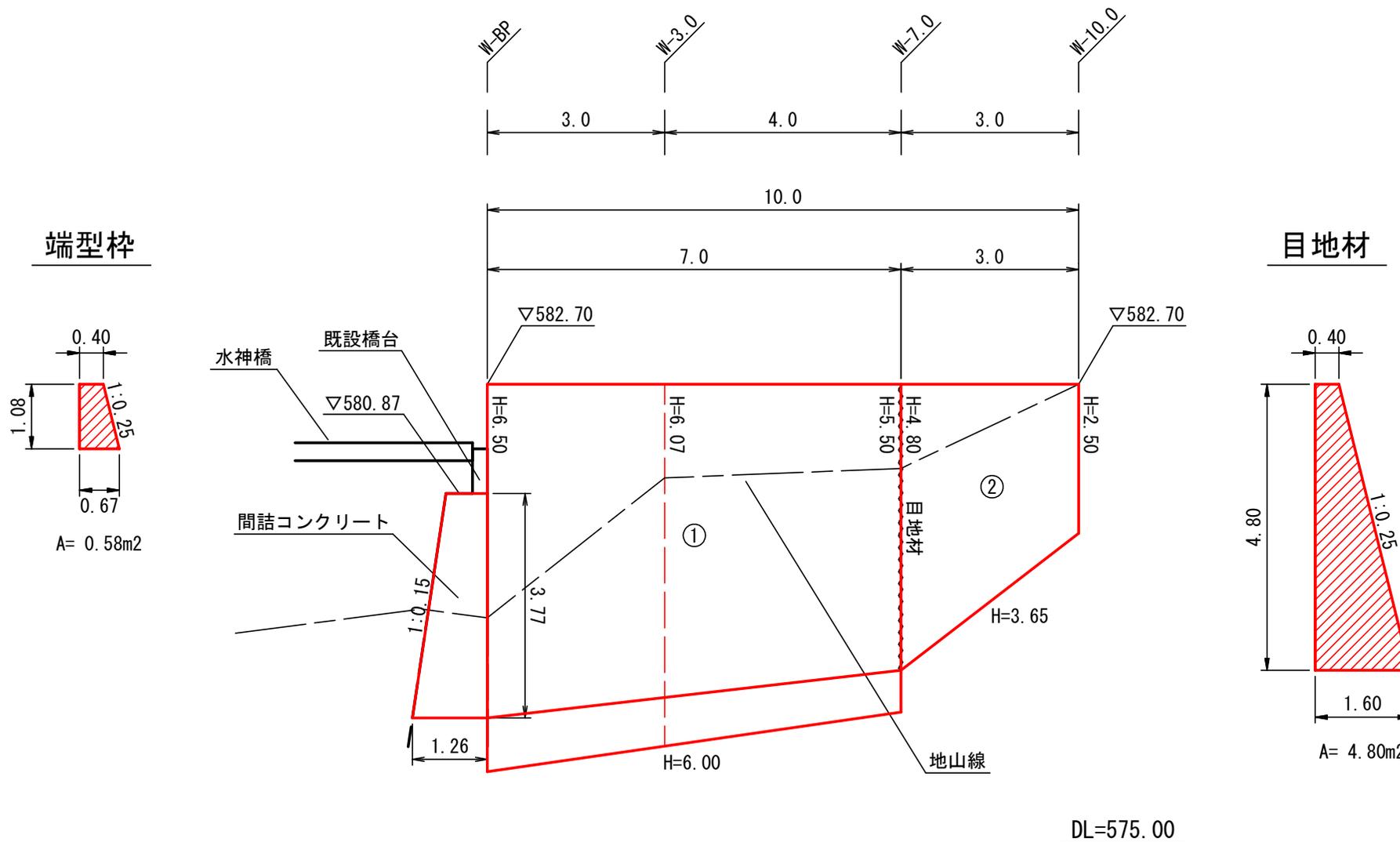
1号重力式コンクリート擁壁工 (呑口側)
L=10.0m

水神橋

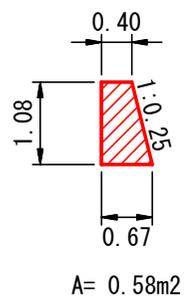
2号重力式コンクリート擁壁工 (吐口側)
L=9.6m

1号重力式コンクリート擁壁工 (正面図)

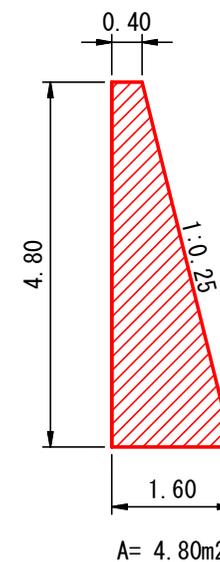
GW-L-I (b-R) n = 1:0.25 (呑口側)



端型枠



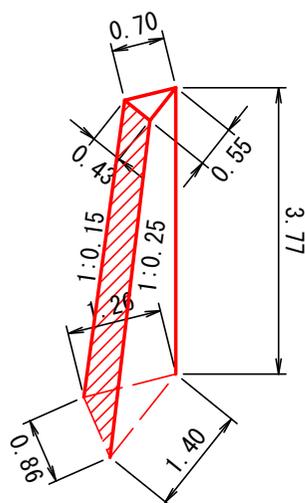
目地材



DL=575.00

1号重力式コンクリート擁壁工 (間詰コンクリート)

GW-L-I (b-R) n =1:0.25 (呑口側)



コンクリート

① $s = (0.70 + 0.43 + 0.55) / 2 = 0.840$
 $S = \sqrt{(0.840 \times (0.840 - 0.70) \times (0.840 - 0.43) \times (0.840 - 0.55))} = 0.118$

② $s = (1.26 + 0.86 + 1.40) / 2 = 1.760$
 $S = \sqrt{(1.760 \times (1.760 - 1.26) \times (1.760 - 0.86) \times (1.760 - 1.40))} = 0.534$

③ $a = (0.70 + 1.26) / 2 = 0.980$
 $b = (0.43 + 0.86) / 2 = 0.645$
 $c = (0.55 + 1.40) / 2 = 0.975$
 $s = (0.980 + 0.645 + 0.975) / 2 = 1.300$
 $S = \sqrt{(1.300 \times (1.300 - 0.980) \times (1.300 - 0.645) \times (1.300 - 0.975))} = 0.298$

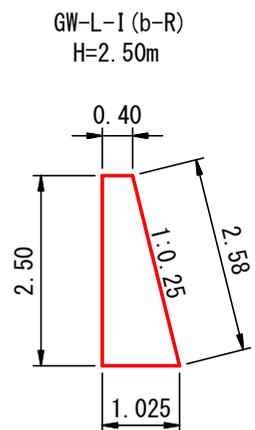
①+②+③ $V = (0.118 + 4 \times 0.298 + 0.534) / 6 \times 3.77 = 1.159\text{m}^3$

型枠(正面)

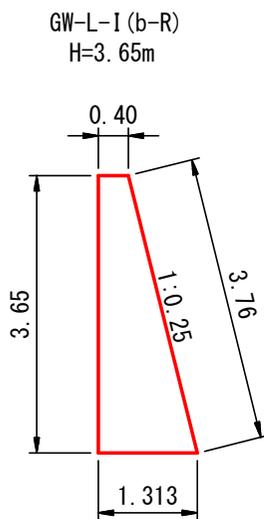
$(0.43 + 0.86) / 2 \times 3.77 \times 1.018 (\text{平均法係数}) = 2.48\text{m}^2$

1号重力式コンクリート擁壁工 (断面図)

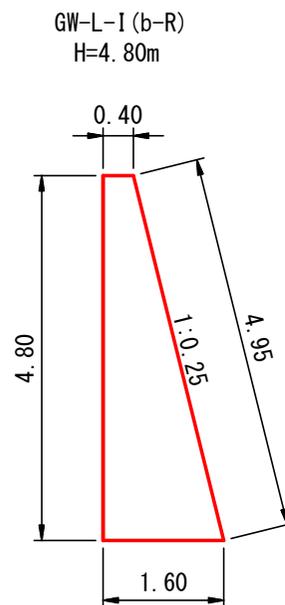
GW-L-I (b-R) n =1:0.25 (呑口側)



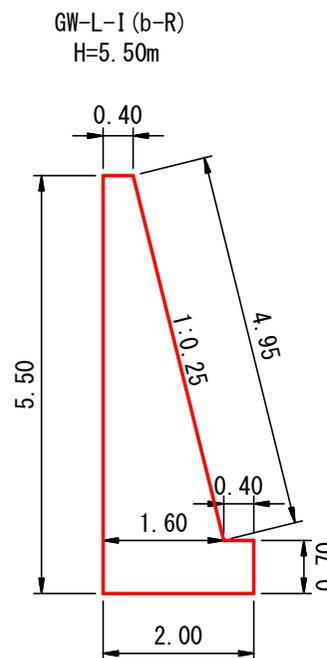
コンクリート 1.781m³
型枠 5.08m²



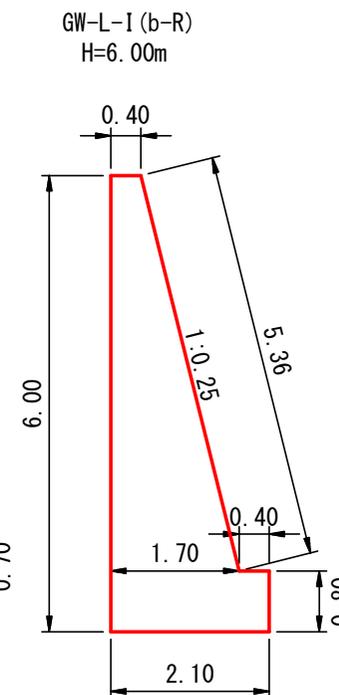
コンクリート 3.126m³
型枠 7.41m²



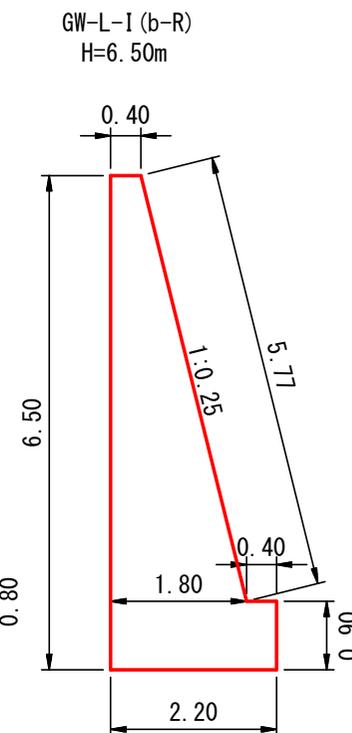
コンクリート 4.800m³
型枠 9.75m²



コンクリート 6.200m³
型枠 11.15m²



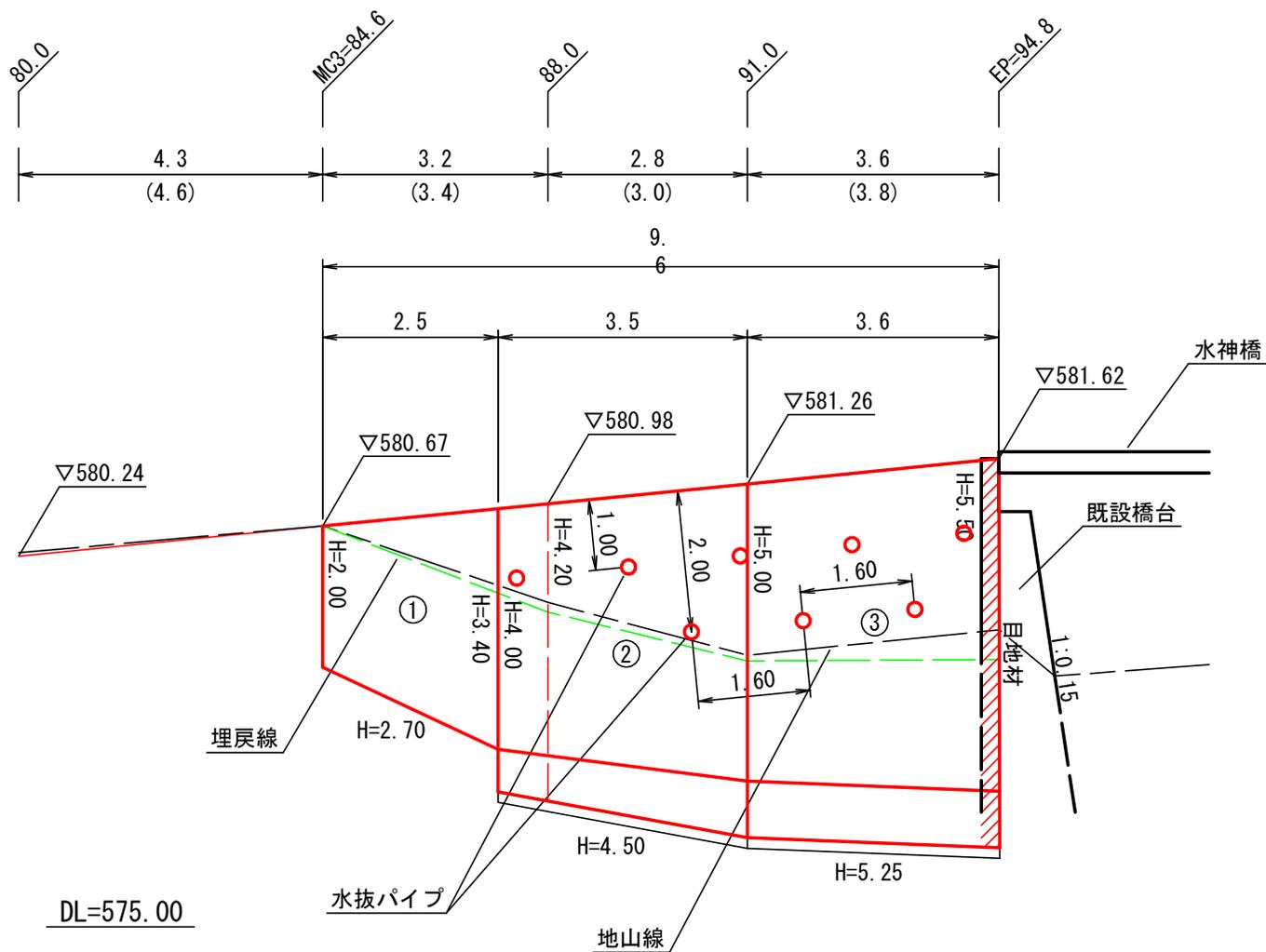
コンクリート 7.140m³
型枠 12.16m²



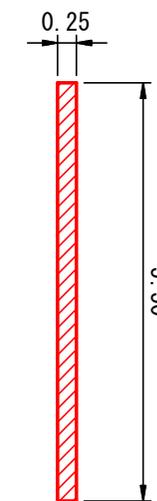
コンクリート 8.140m³
型枠 13.17m²

2号重力式コンクリート擁壁工 (正面図)

GW-L-I (b-S) n = 1:0.30 (吐口側)



目地材



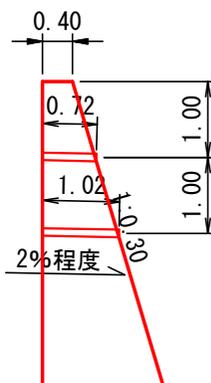
A= 1.38m²

2号重力式コンクリート擁壁工 (断面図)

GW-L-I (b-S) n = 1:0.30 (吐口側) (2-1)

水抜パイプ配置図

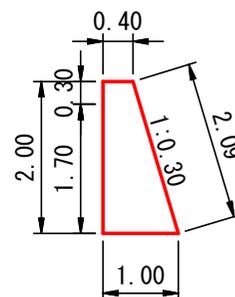
1段目 5箇所
水平設置間隔 1.60m
2段目 3箇所
水平設置間隔 1.60m
計 8箇所



水抜パイプ延長

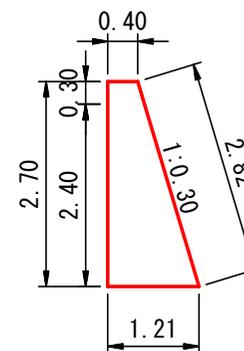
1段目 0.72m × 5箇所 = 3.60m
2段目 1.02m × 3箇所 = 3.06m
計 6.66m

GW-L-I (b-S)
H=2.00m



コンクリート 1.400m³
型枠① 3.79m²
型枠② 0.30m²

GW-L-I (b-S)
H=2.70m

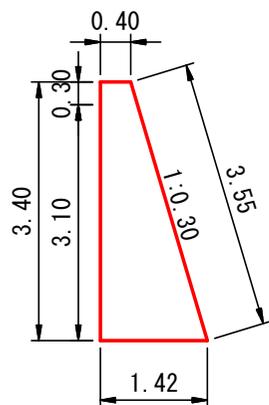


コンクリート 2.174m³
型枠① 5.22m²
型枠② 0.30m²

2号重力式コンクリート擁壁工 (断面図)

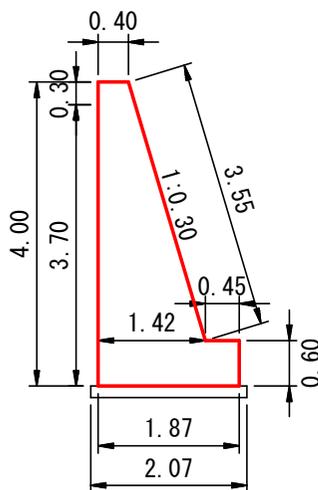
GW-L-I (b-S) n = 1:0.30 (吐口側) (2-2)

GW-L-I (b-S)
H=3.40m



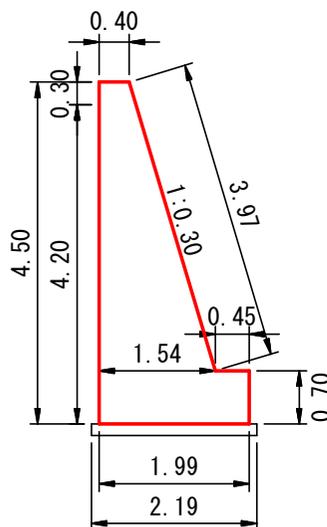
コンクリート 3.094m³
型枠① 6.65m²
型枠② 0.30m²

GW-L-I (b-S)
H=4.00m



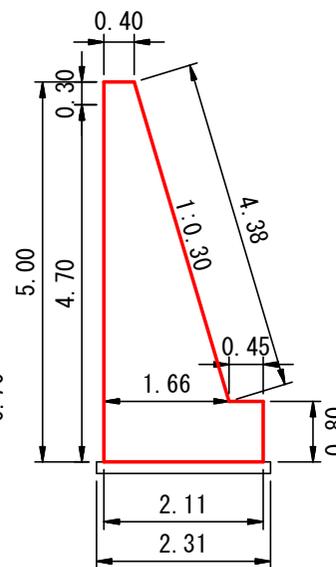
コンクリート 4.216m³
型枠① 7.85m²
型枠② 0.30m²
基礎礫 2.07m²

GW-L-I (b-S)
H=4.50m



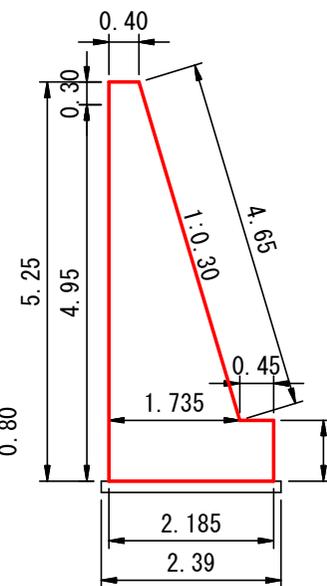
コンクリート 5.079m³
型枠① 8.87m²
型枠② 0.30m²
基礎礫 2.19m²

GW-L-I (b-S)
H=5.00m



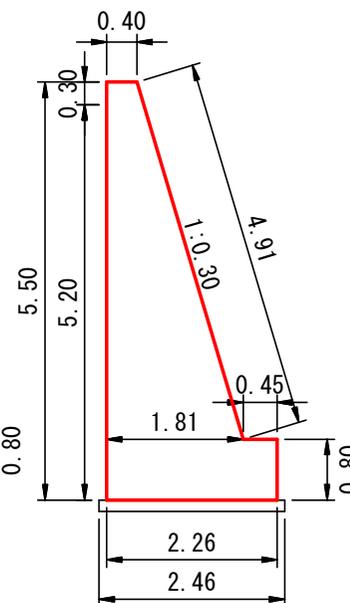
コンクリート 6.014m³
型枠① 9.88m²
型枠② 0.30m²
基礎礫 2.31m²

GW-L-I (b-S)
H=5.25m



コンクリート 6.498m³
型枠① 10.40m²
型枠② 0.30m²
基礎礫 2.39m²

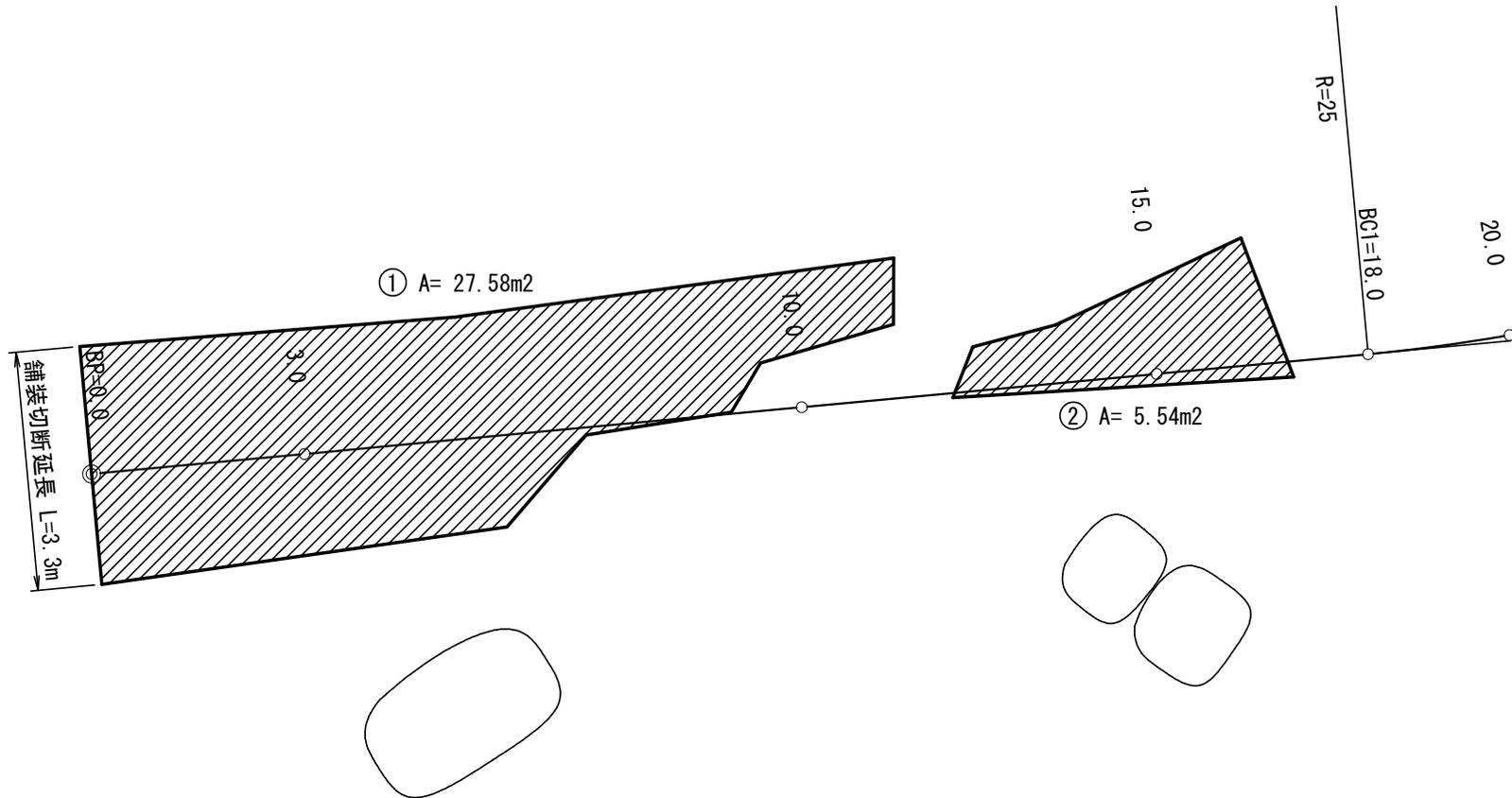
GW-L-I (b-S)
H=5.50m



コンクリート 7.002m³
型枠① 10.91m²
型枠② 0.30m²
基礎礫 2.46m²

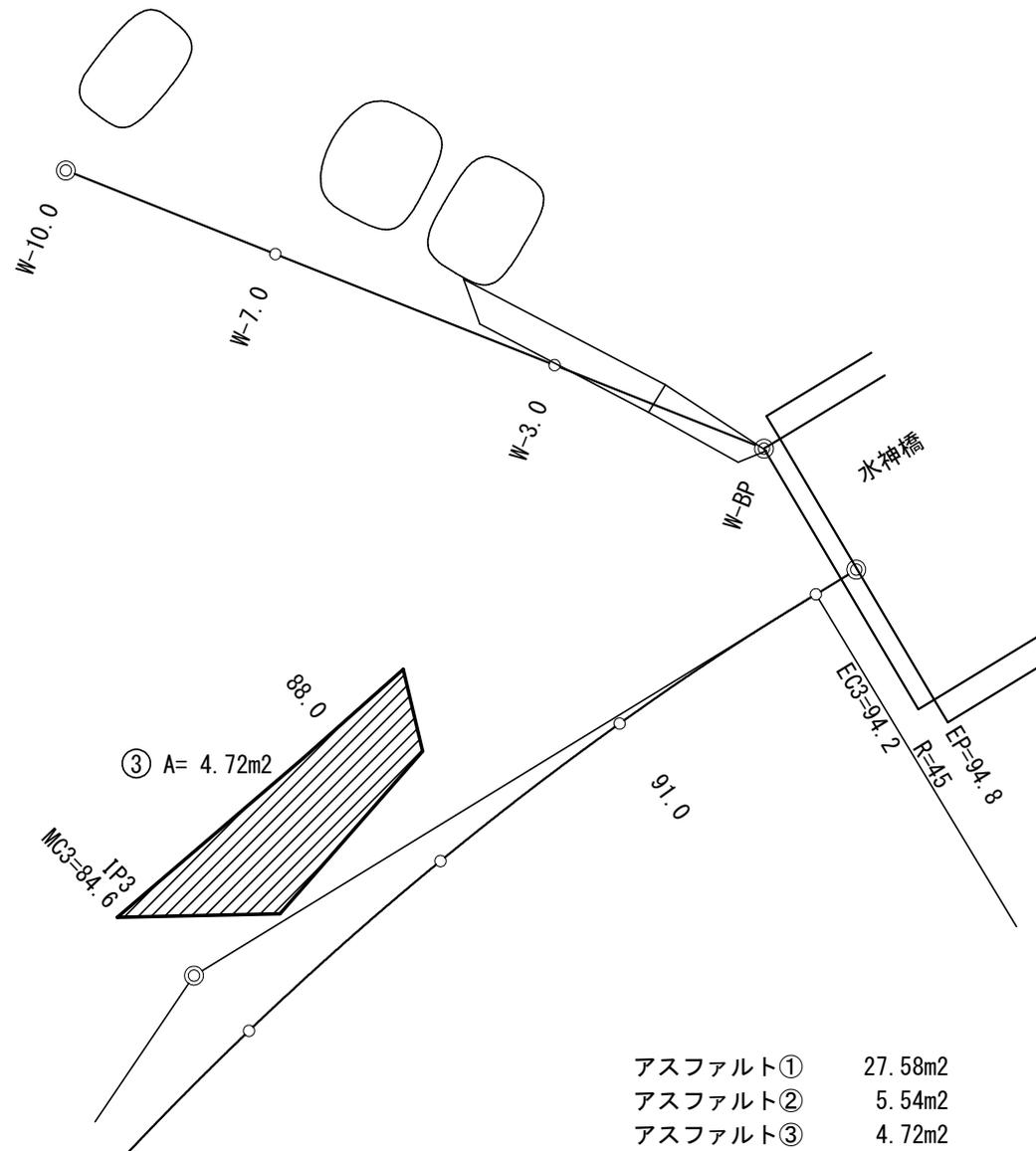
アスファルト舗装撤去

(2-1)

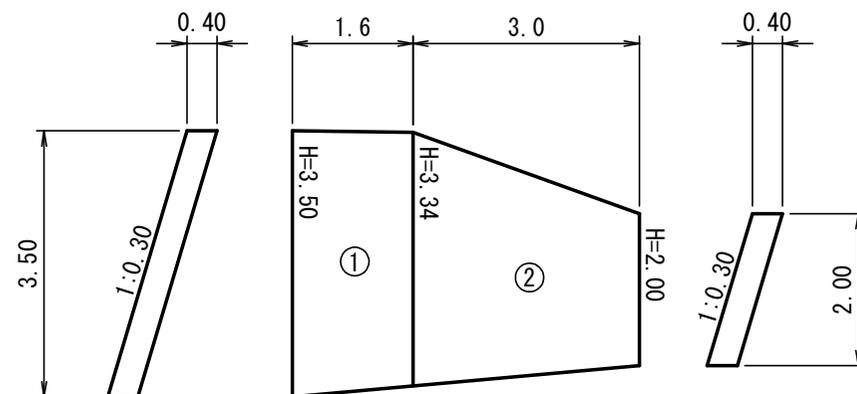
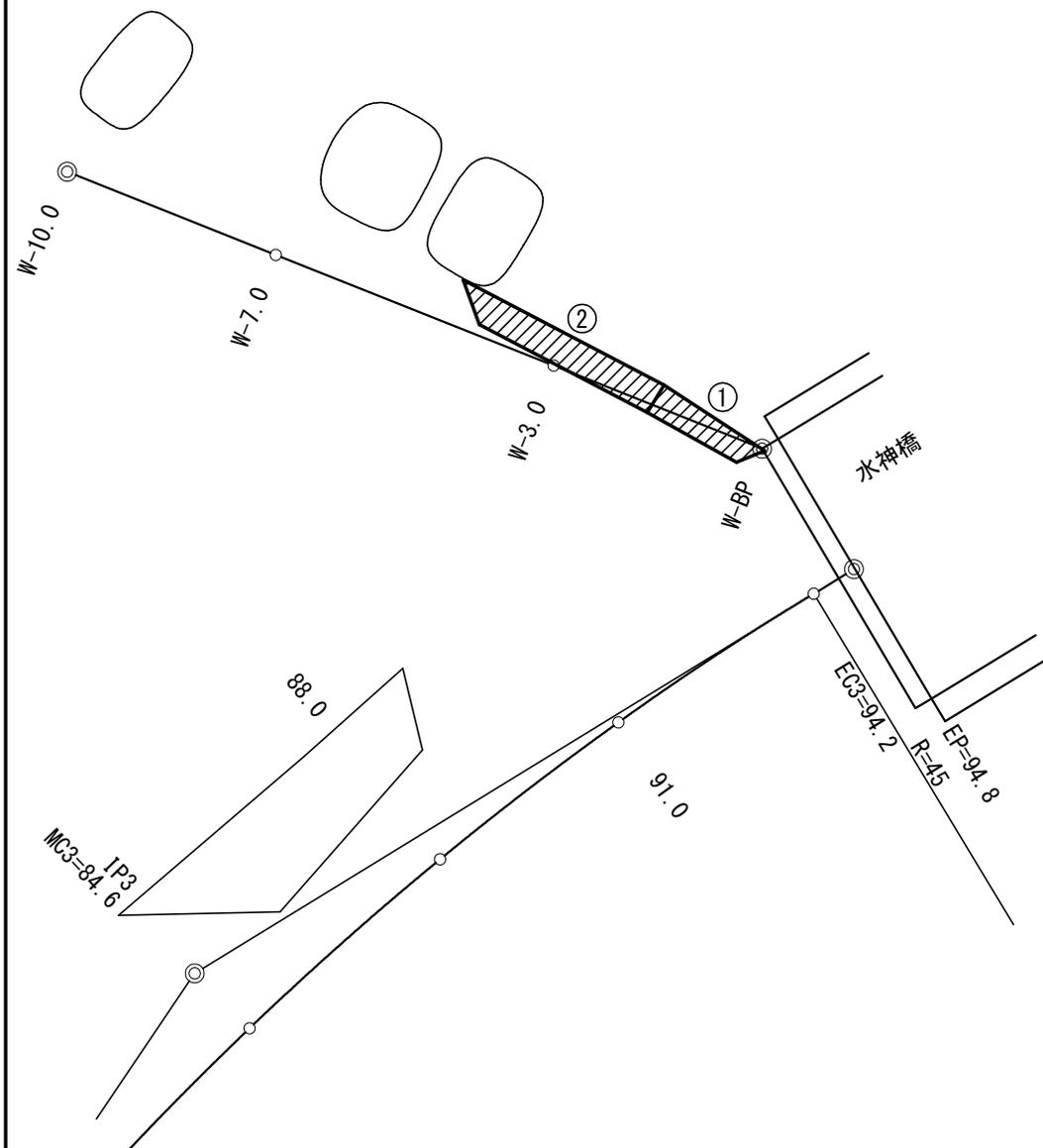


アスファルト舗装撤去

(2-2)



既設練石積撤去



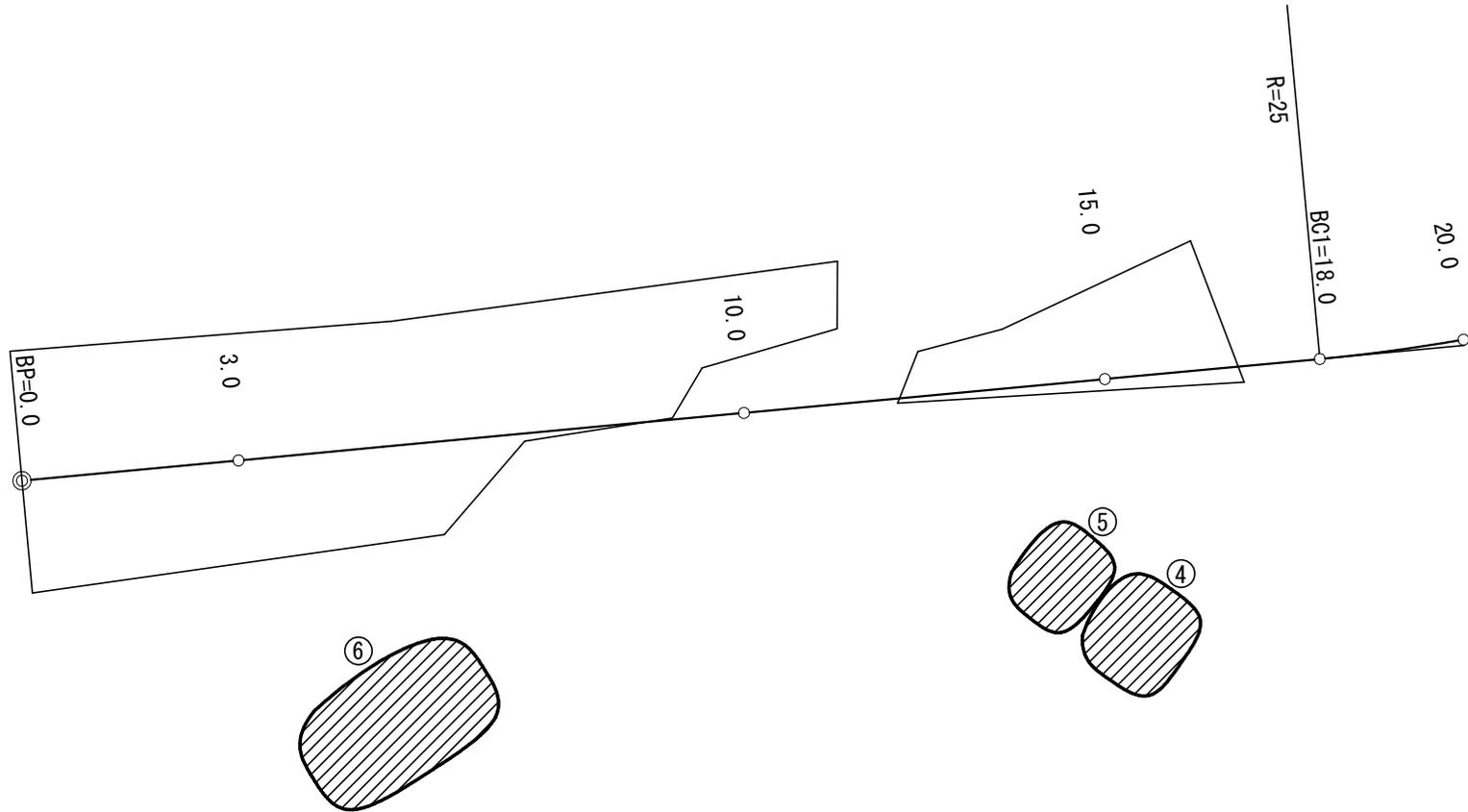
練石積① $V = (3.50 + 3.34) / 2 \times 1.6 \times 0.40 = 2.19\text{m}^3$

練石積② $V = (3.34 + 2.00) / 2 \times 3.0 \times 0.40 = 3.20\text{m}^3$

計 = 5.39m³

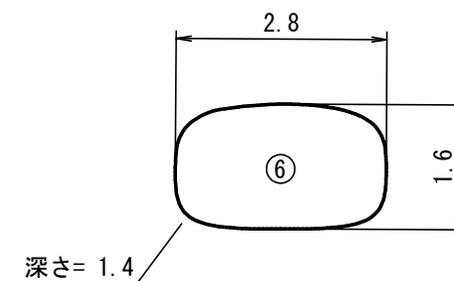
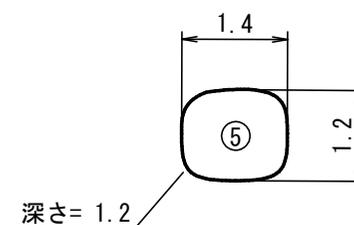
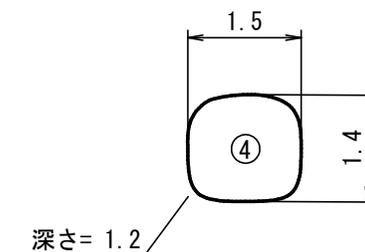
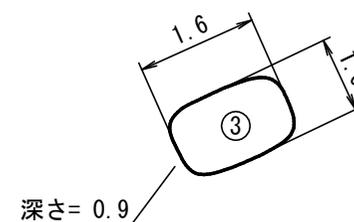
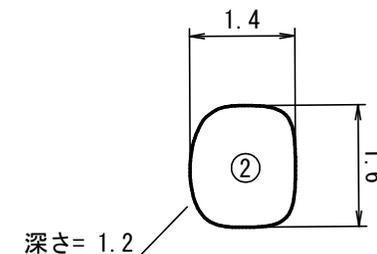
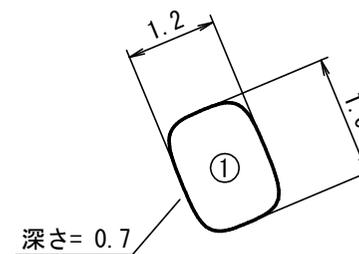
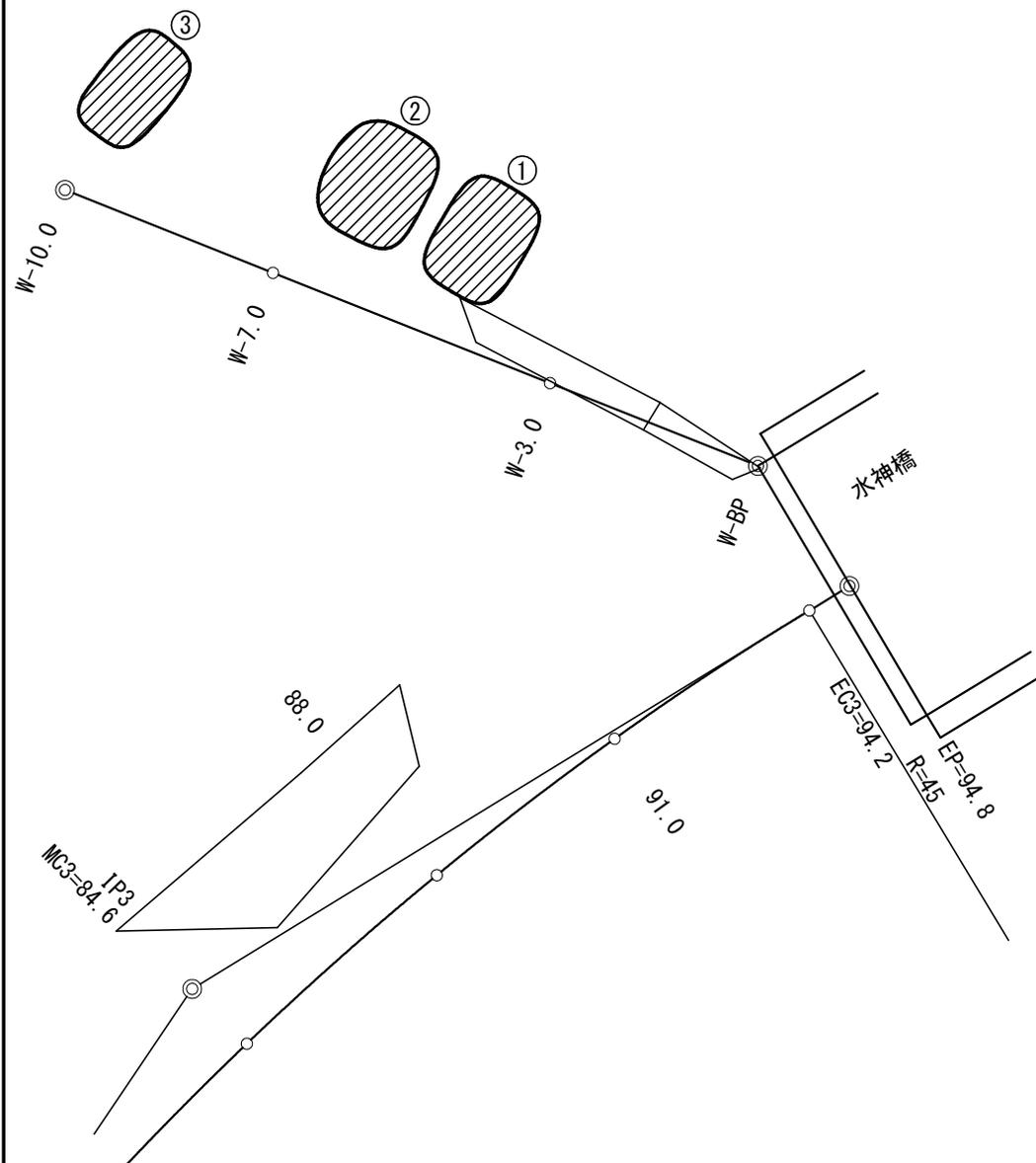
転石破碎

(2-1)



転石破碎

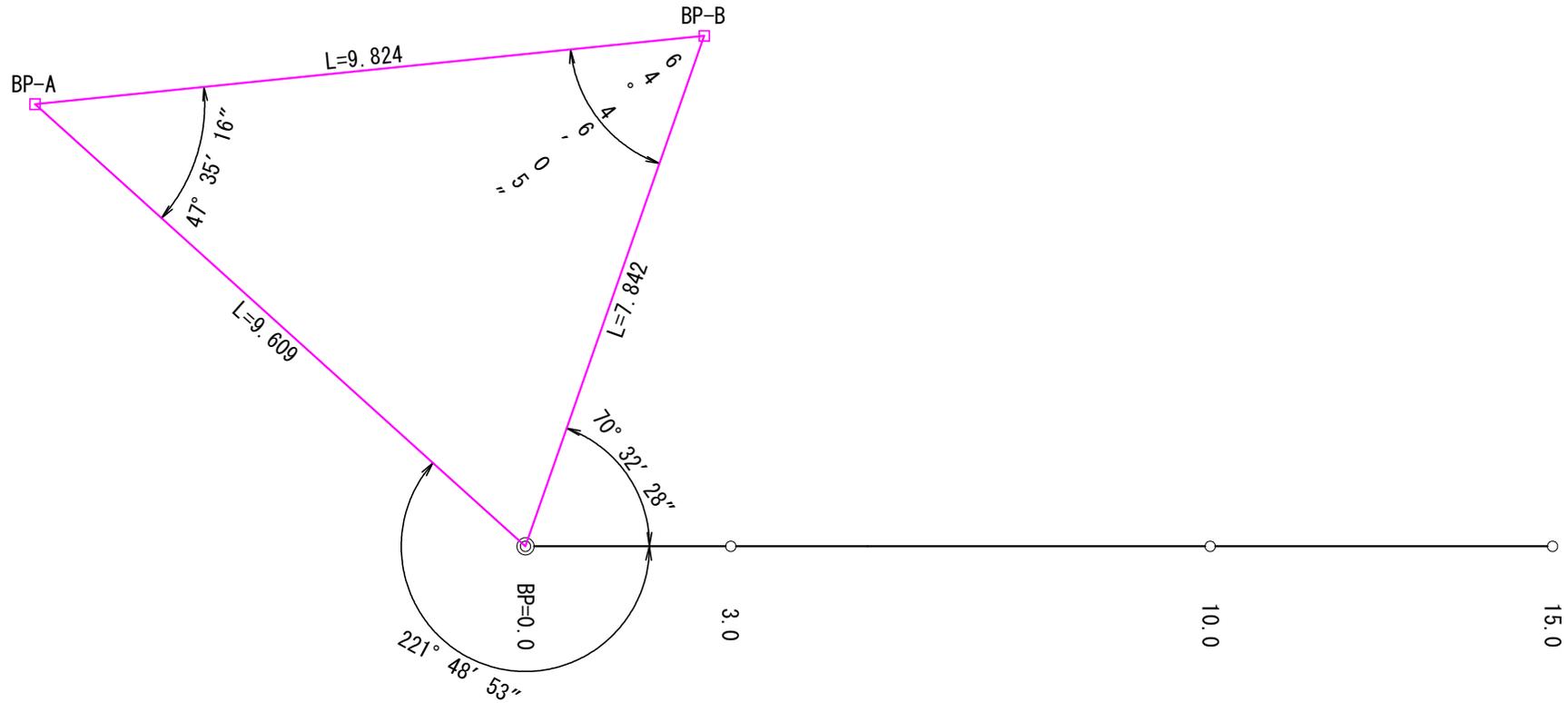
(2-2)



- 転石① $V=1/6 \times 3.14 \times 1.2 \times 0.7 \times 1.6 = 0.70\text{m}^3$
- 転石② $V=1/6 \times 3.14 \times 1.4 \times 1.2 \times 1.6 = 1.41\text{m}^3$
- 転石③ $V=1/6 \times 3.14 \times 1.6 \times 0.9 \times 1.0 = 0.75\text{m}^3$
- 転石④ $V=1/6 \times 3.14 \times 1.5 \times 1.2 \times 1.4 = 1.32\text{m}^3$
- 転石⑤ $V=1/6 \times 3.14 \times 1.4 \times 1.2 \times 1.2 = 1.06\text{m}^3$
- 転石⑥ $V=1/6 \times 3.14 \times 2.8 \times 1.4 \times 1.6 = 3.28\text{m}^3$

計= 8.52m³

引照点図



愛鷹（池の平）林道外 1

災害復旧工事

3 工区設計図

（愛鷹（愛鷹）林道）

分 類	林道	規 格	2 級 (B)		
位 置	静岡県沼津市足高				
延 長	50.0	m	国有林内	0.0	m
			国有林外	50.0	m
巾 員	3.6	m	最小半径	60.0	m
勾 配	最 急	平 均	設 計 荷 重	14.0	t
	1.00 %	- %			

静岡森林管理署

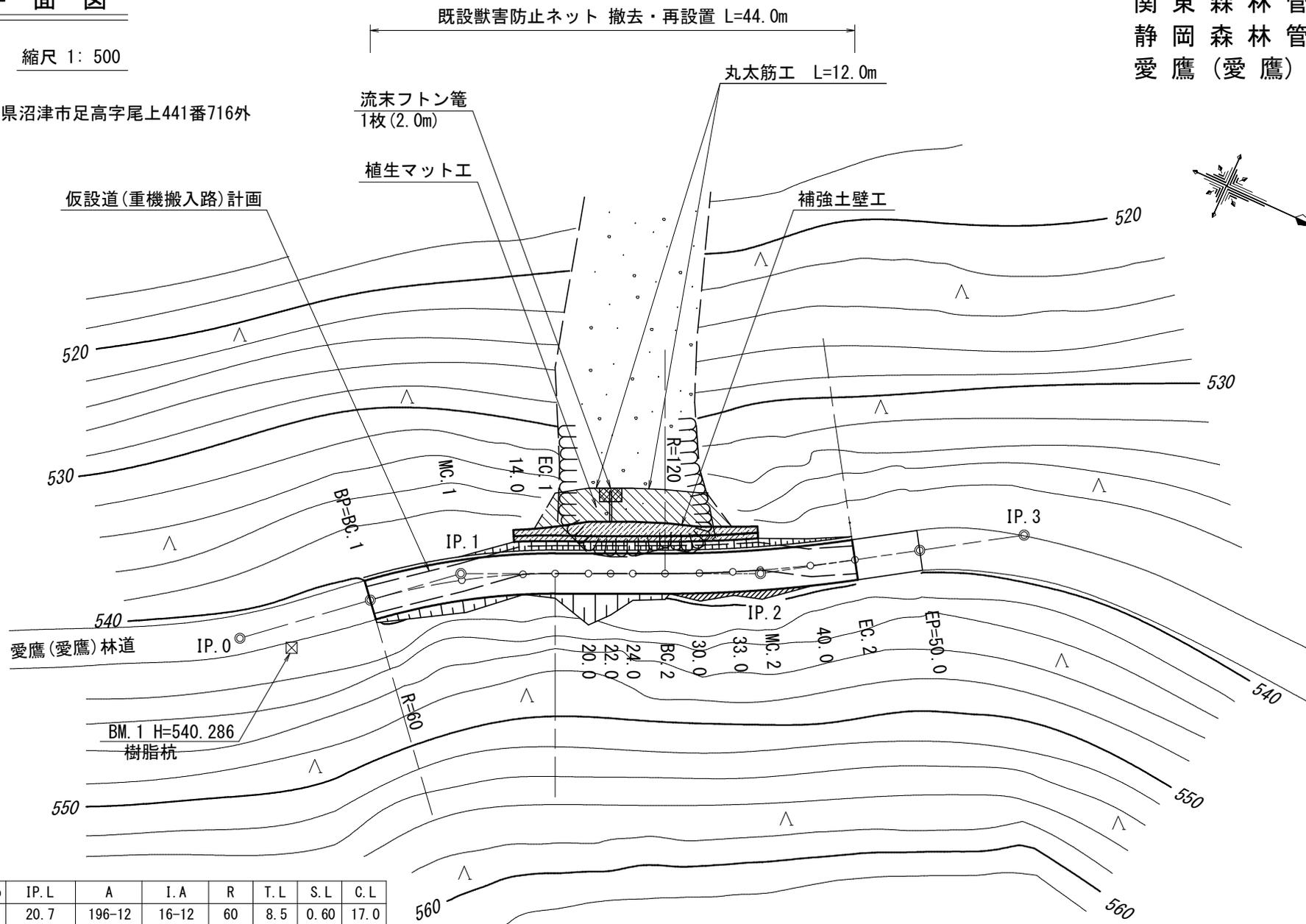
令和7年7月 測量

平面図

縮尺 1: 500

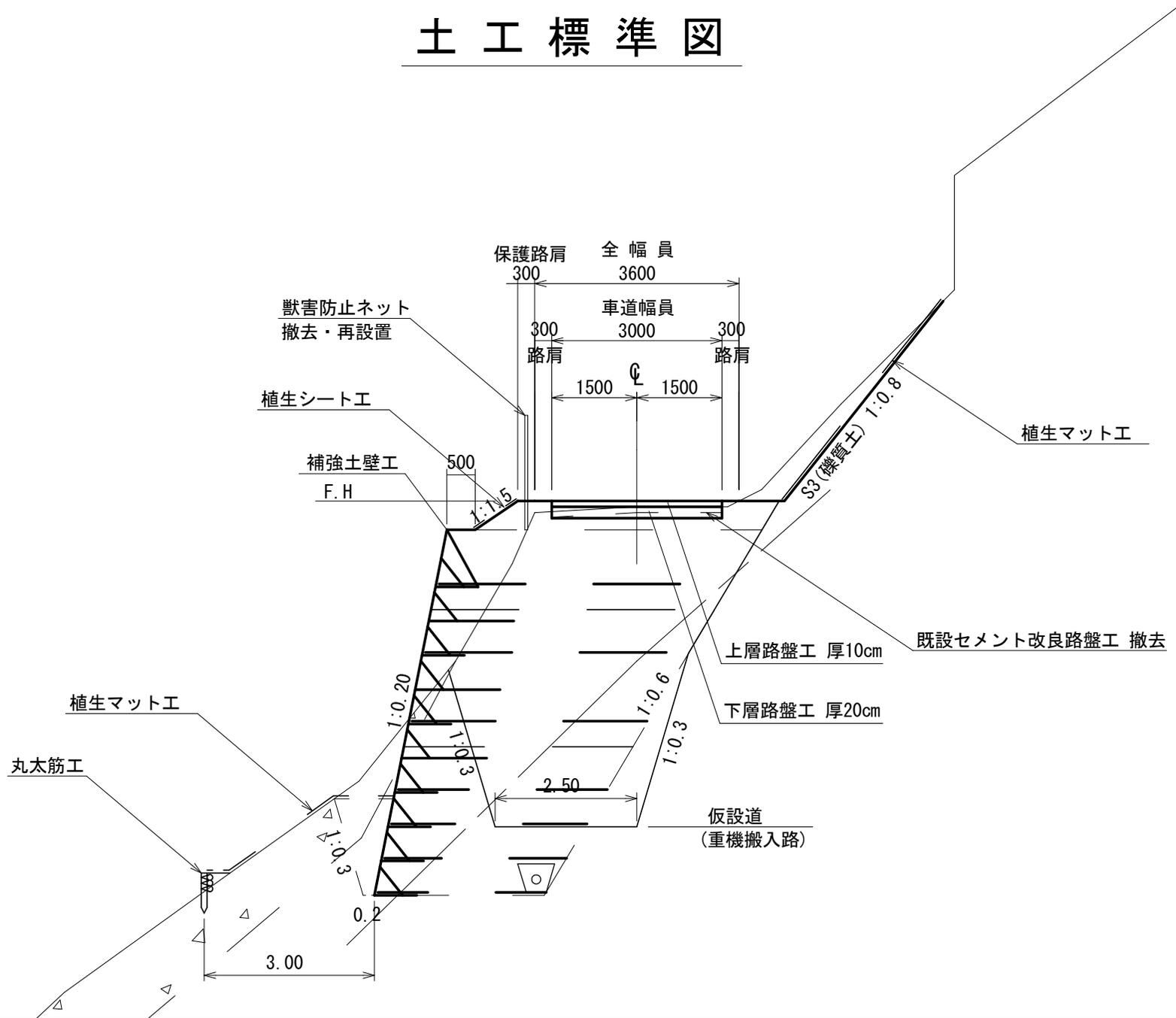
静岡県沼津市足高字尾上441番716外

関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道



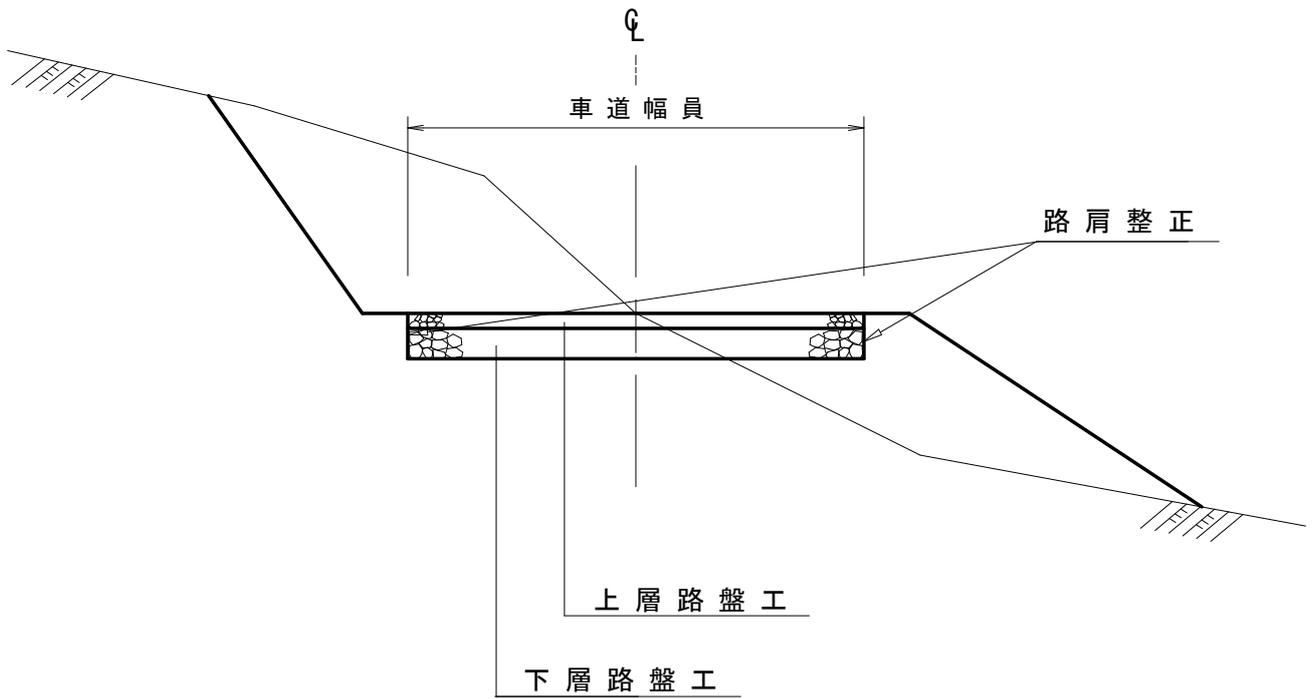
IP.No	IP.L	A	I.A	R	T.L	S.L	C.L
1	20.7	196-12	16-12	60	8.5	0.60	17.0
2	27.0	171-46	8-14	120	8.6	0.31	17.2
3	24.0	-	-	-	-	-	-

土工標準図



路肩 整 正

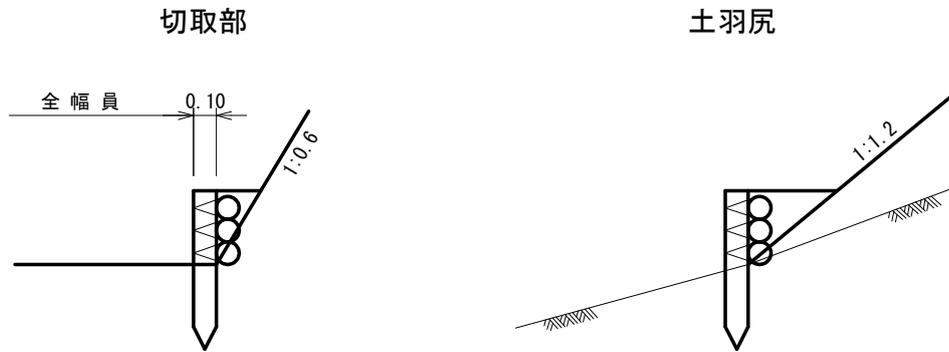
S=1:50



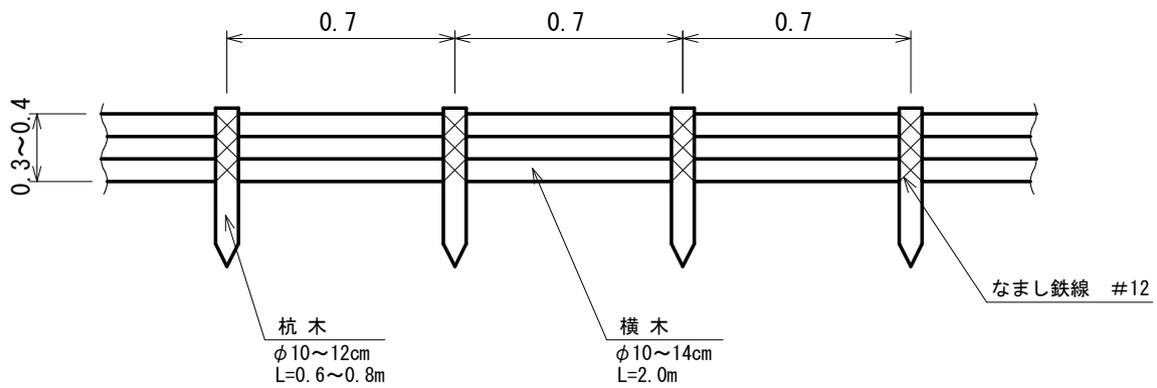
丸太筋工

S=1:Free

側面図



正面図



材料表

(10m当たり)

名称	規格・寸法	数量	備考
横木	末口径 0.10×2.00長	15本	
止め杭	末口径 0.10×0.6~0.7長	15本	
鉄線	#10m	4.06 kg	1ヶ所当たり1.5m使用

流末処理工施工標準図

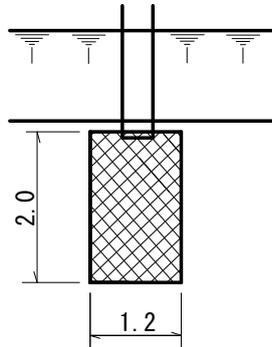
(単位：m)

適用

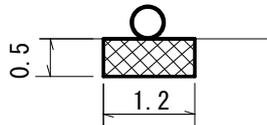
○

フトン籠 1本

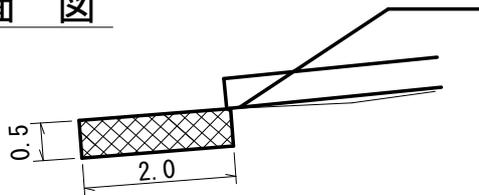
平面図



断面図



側面図



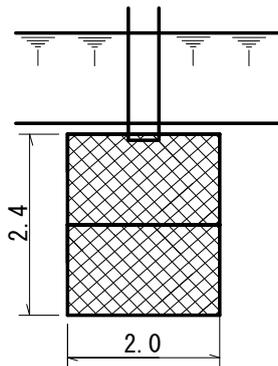
材料表

名称	適用	規格・寸法
フトン籠		寸法：2.0x1.2x0.5 m
		網目：15 cm
		網線：亜鉛引鉄線φ4.0
詰石	○	玉石 径 20cm程度
		現採 径 20cm程度
現採：現地発生材等から採取		

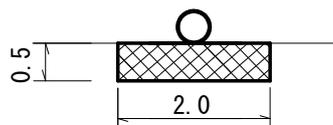
適用

フトン籠 2本以上

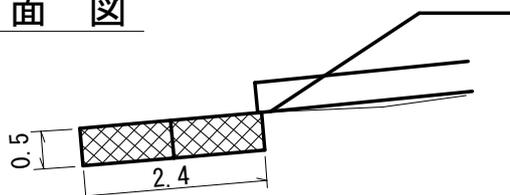
平面図



断面図



側面図

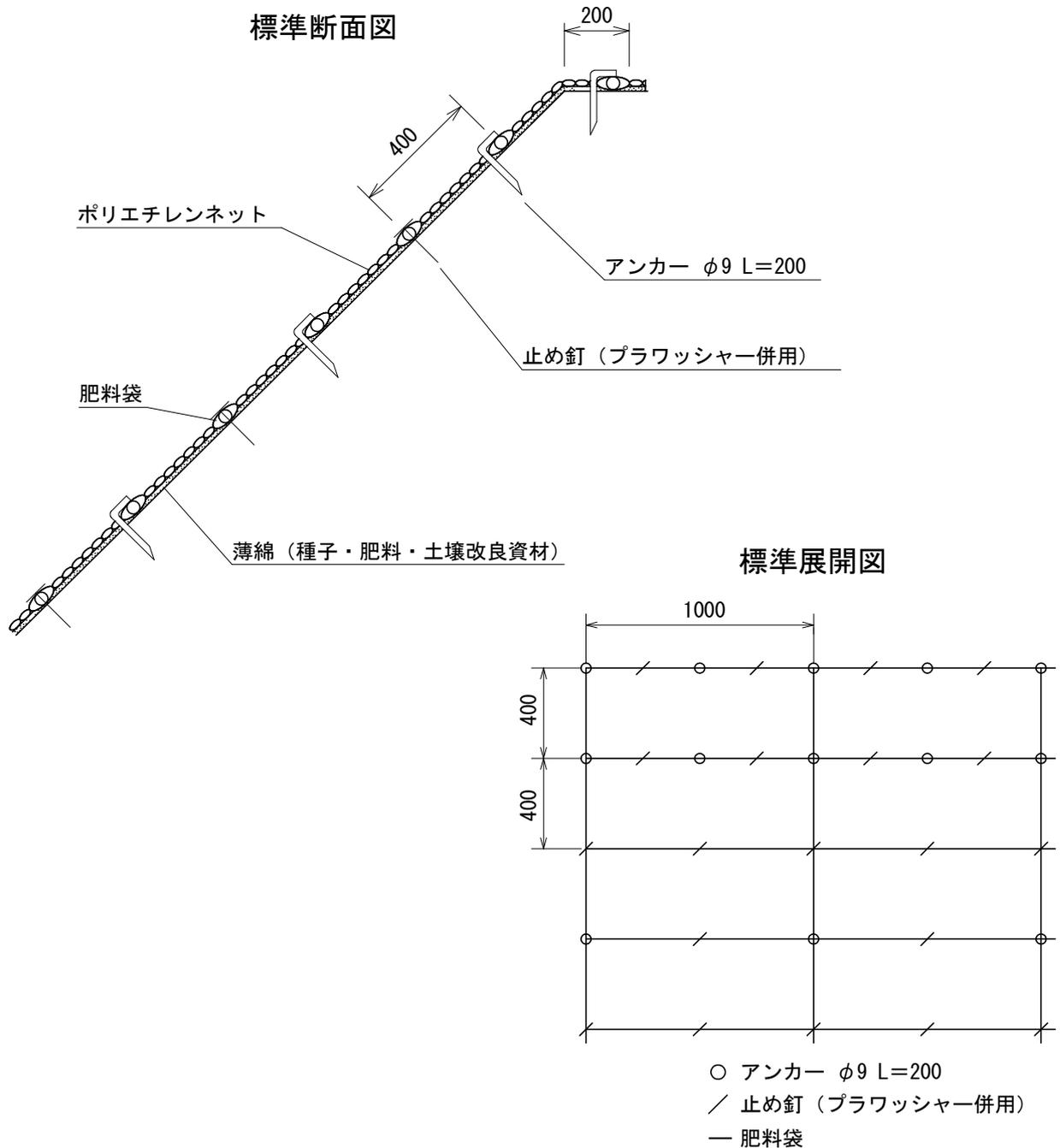


材料表

名称	適用	規格・寸法
フトン籠		寸法：2.0x1.2x0.5 m
		網目：15 cm
		網線：亜鉛引鉄線φ4.0
詰石		玉石 径 20cm程度
		現採 径 20cm程度
現採：現地発生材等から採取		

植生マット標準図

S=1:Free



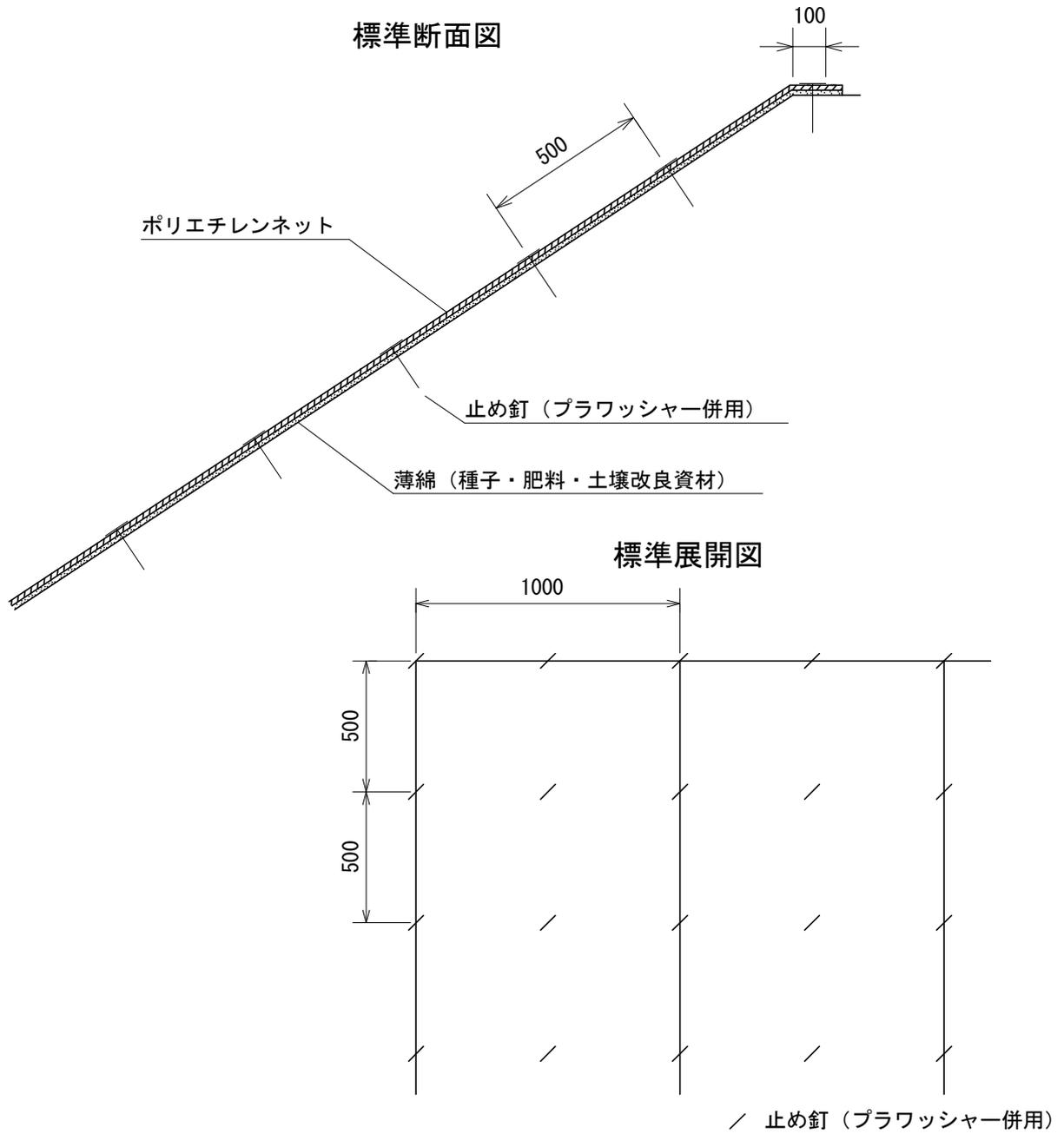
材料表

(100m²当り)

種 別	形 状	単 位	数 量	備 考
植生マット	1,000 × 10,000	m ²	120	割増率 20% プラワッシャーは含まず
アンカー	φ9 L=200	本	184	
止め釘	L=150 (プラワッシャー併用)	本	422	

植生シート標準図

S=1:Free



材料表

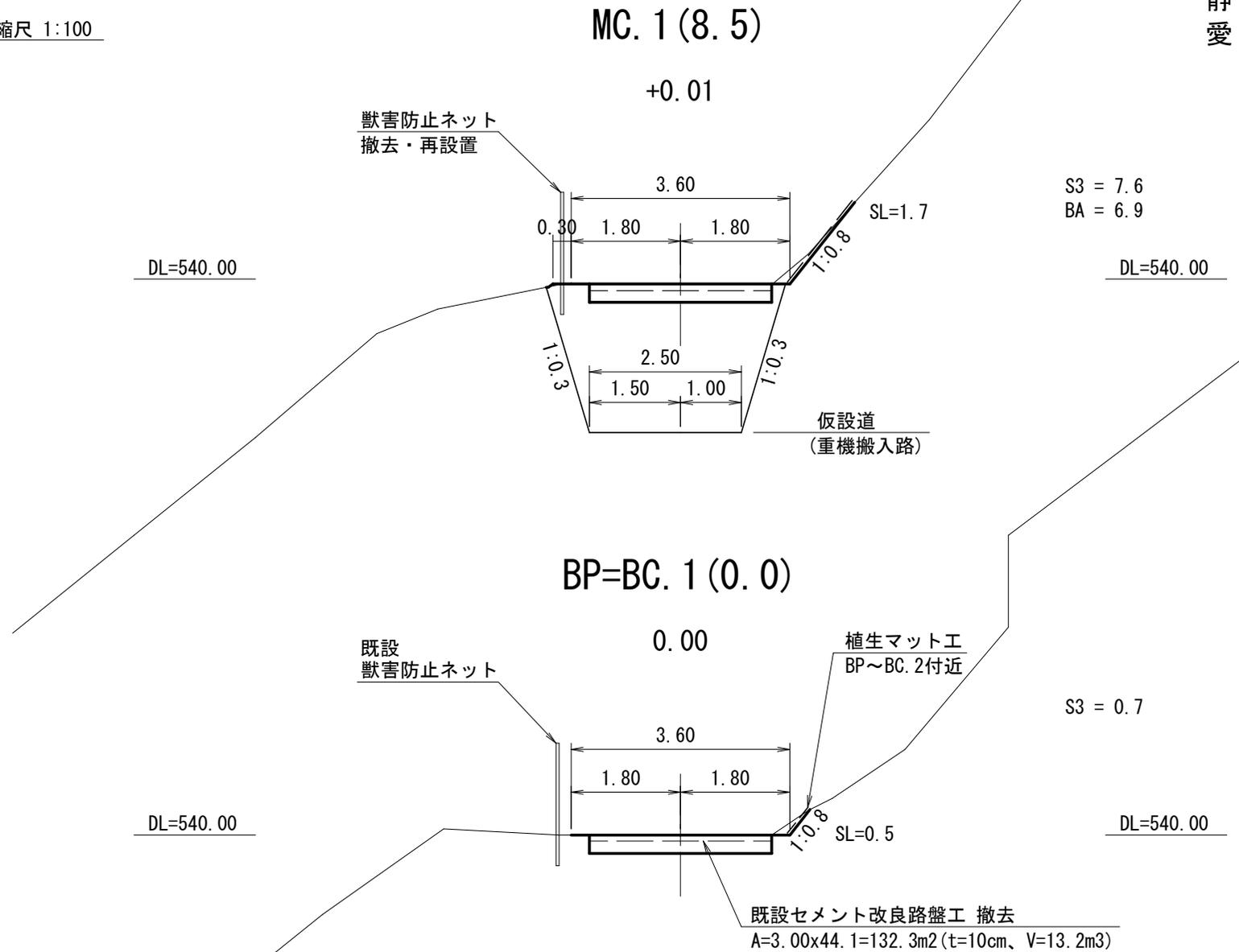
(100m²当り)

種 別	形 状	単 位	数 量	備 考
植生シート	1,000×10,000	m ²	110	割増率 10% プラワッシャーを含む
止め釘	L=150	本	441	

横断面図

縮尺 1:100

関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道



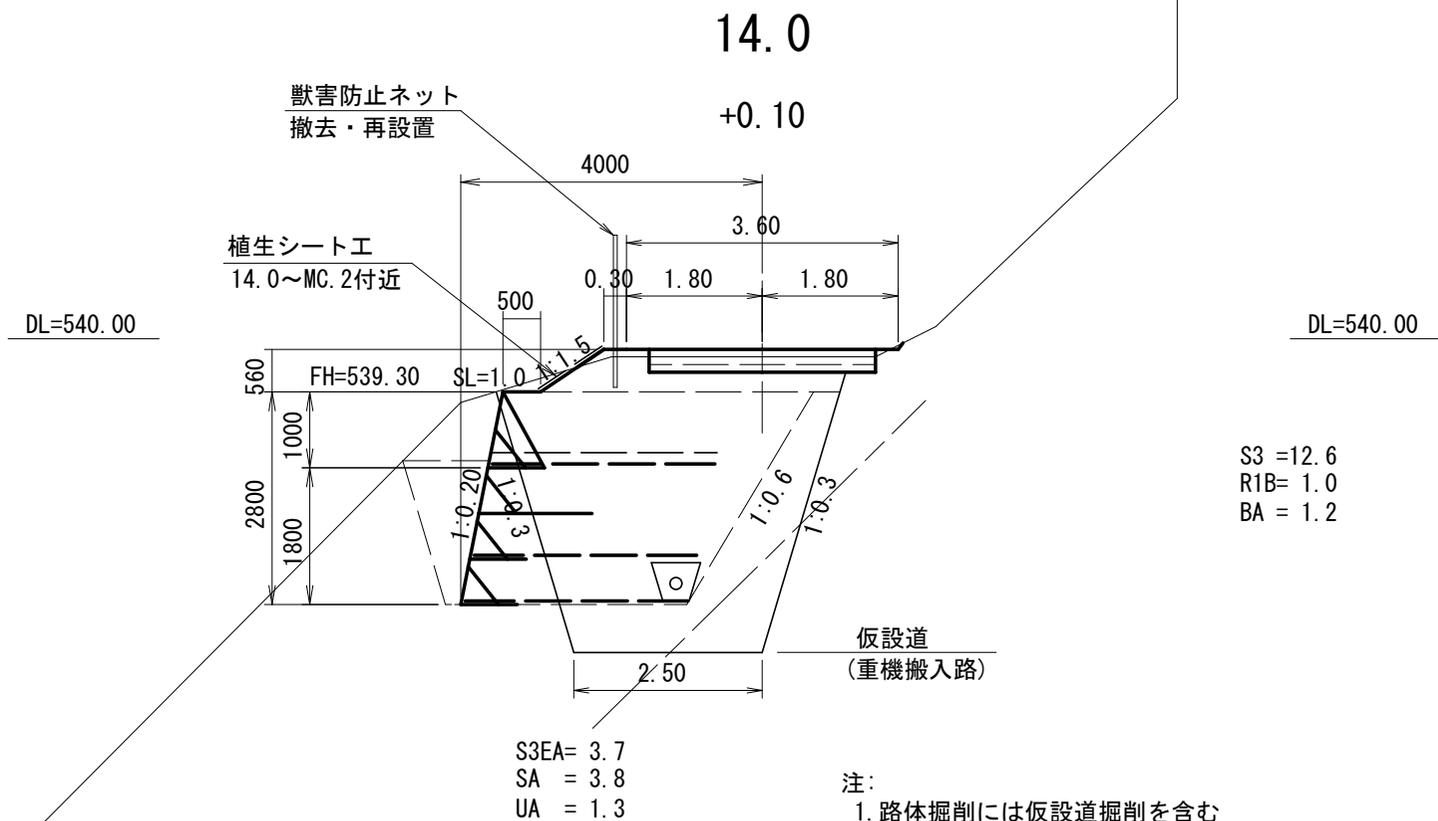
注:

1. 路体掘削には仮設道掘削を含む
2. 路体盛土には仮設道掘削部の埋戻しを含む

横断面図

縮尺 1:100

関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道



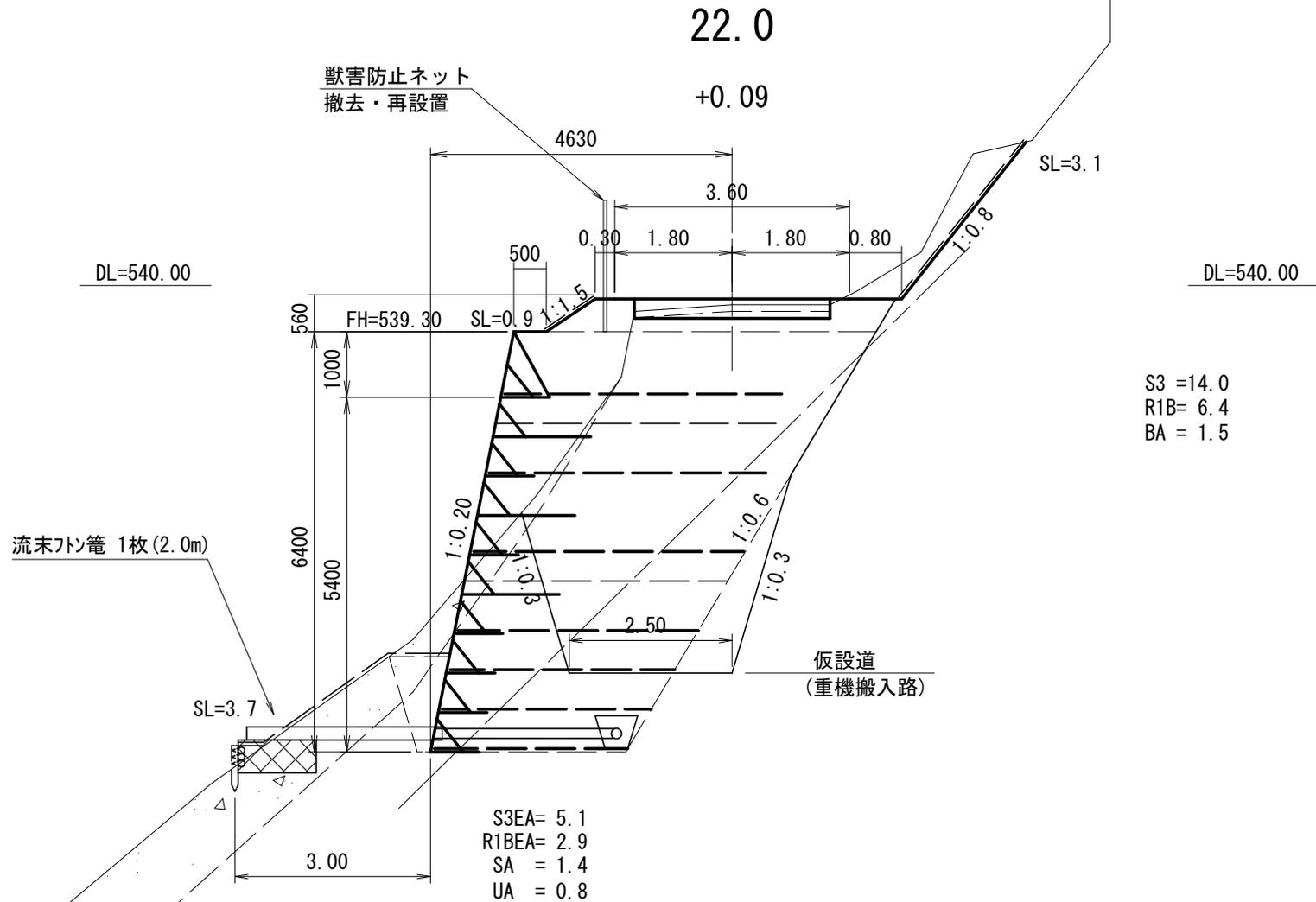
注:

1. 路体掘削には仮設道掘削を含む
2. 補強土壁工床掘は上記範囲外を計上
3. 路体盛土は補強土壁工上部を計上
4. 補強土壁下部及び背面の仮設道掘削部は、「敷均し・締固め(SA)」として計上
5. 補強土壁工内の「敷均し・締固め」は、数量計算書にて計上

横断面図

縮尺 1:100

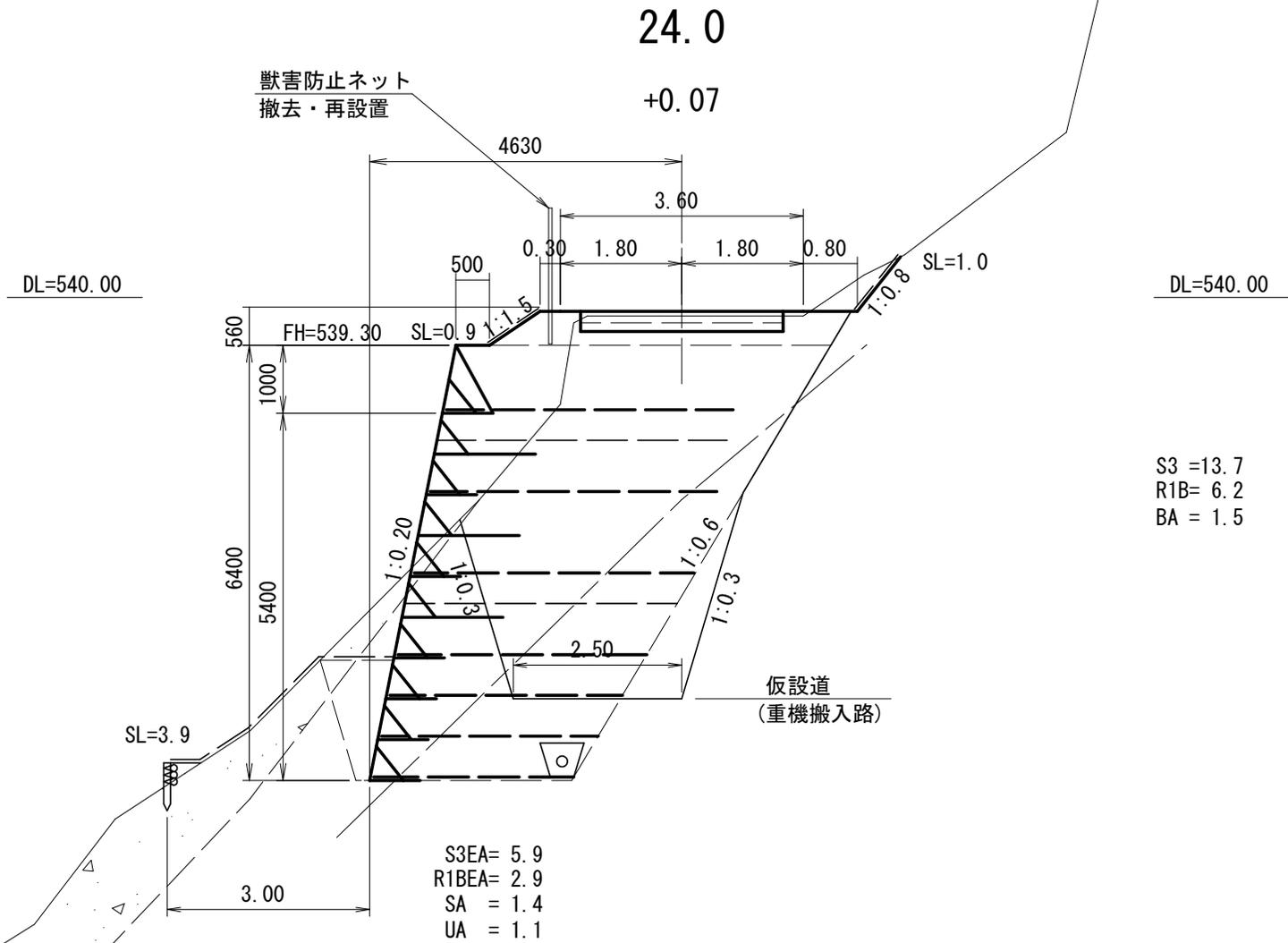
関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道



横断面図

縮尺 1:100

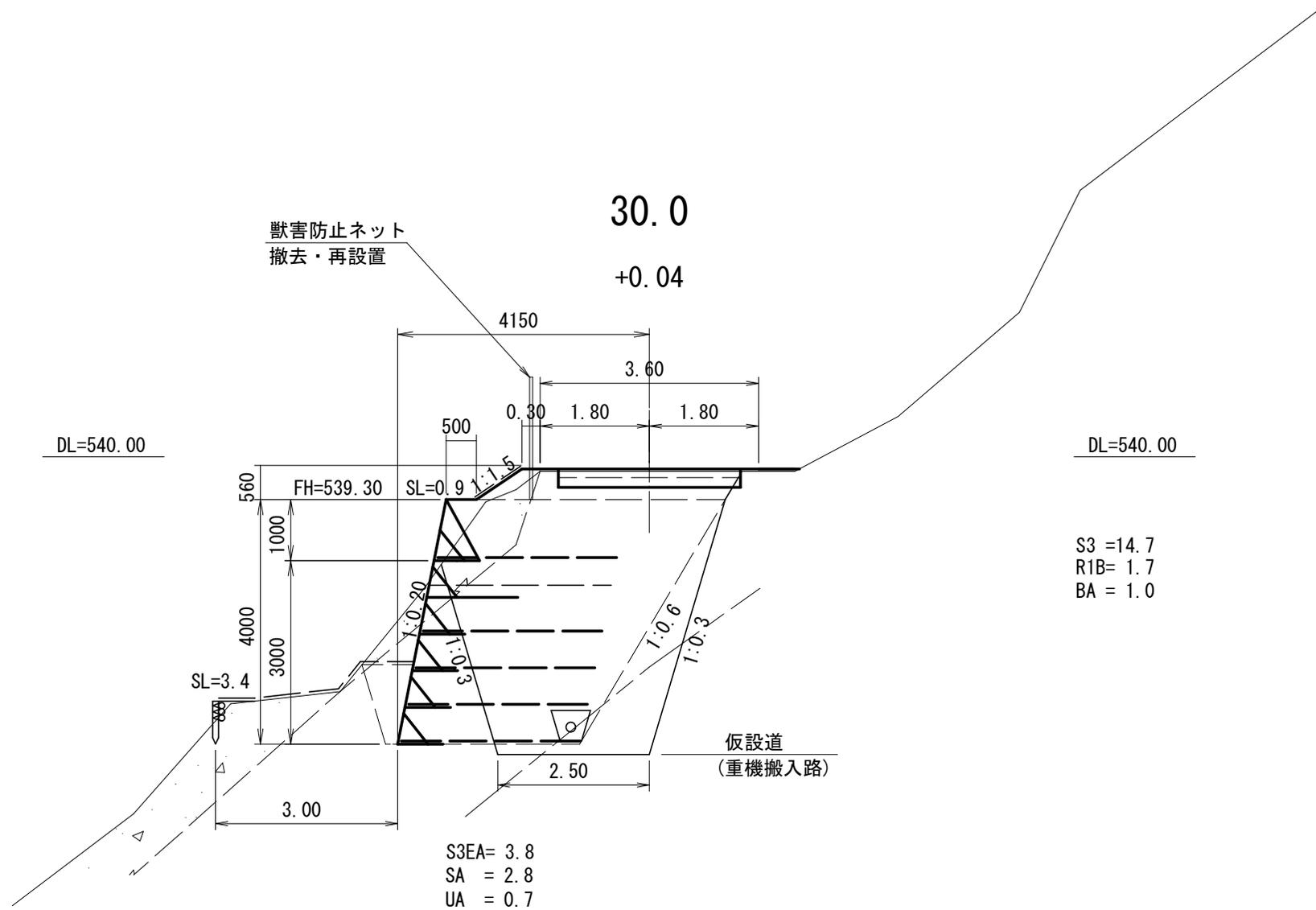
関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道



横断面図

縮尺 1:100

関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道



横断面図

縮尺 1:100

関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道

EC. 2(44.1)

-0.01

既設
獣害防止ネット

3.60

1.80 1.80

S3 = 0.6

DL=540.00

DL=540.00

40.0

-0.01

獣害防止ネット
撤去・再設置

3.60

1.80 1.80

S3 = 3.7
BA = 3.0

DL=540.00

DL=540.00

SL=0.2 1:1.2
1:0.3

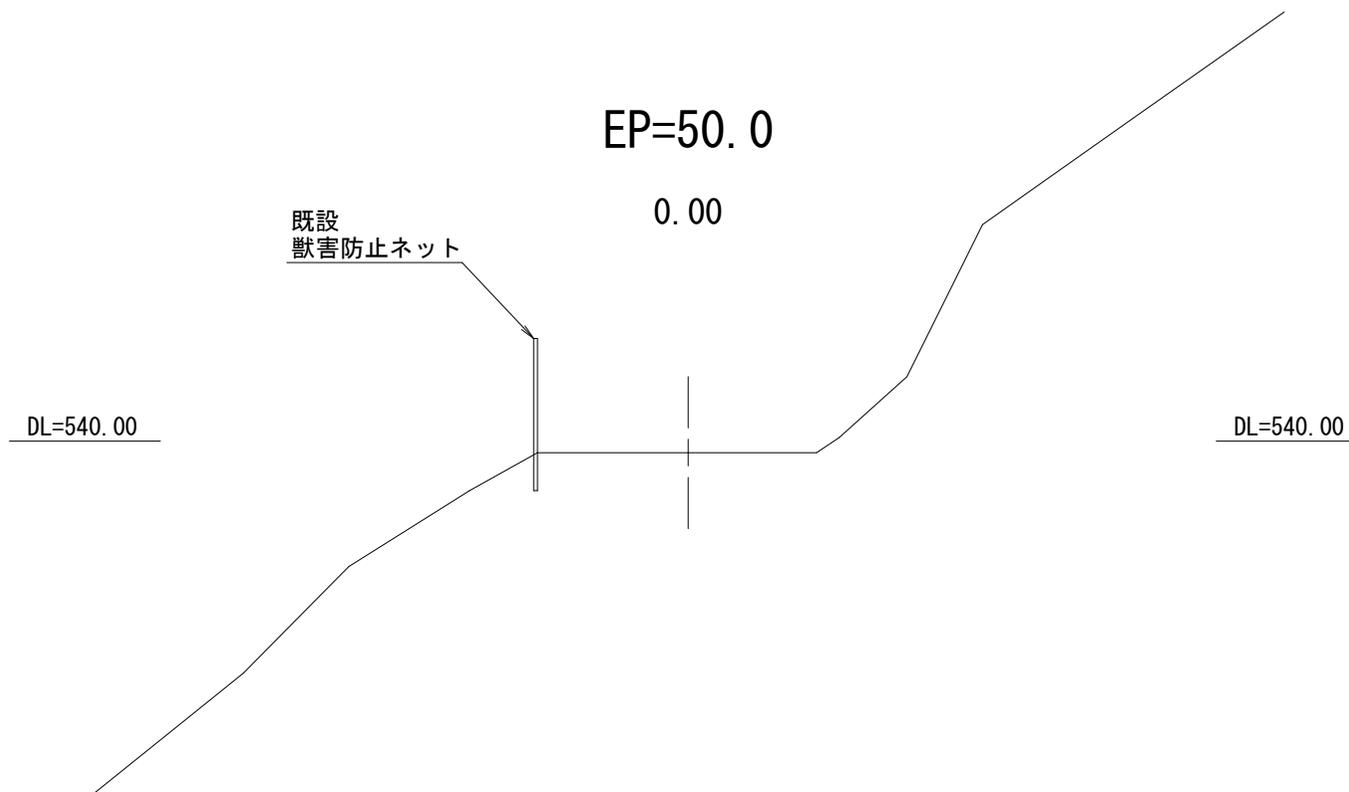
仮設道
(重機搬入路)

1.50 1.00
2.50

横断面図

縮尺 1:100

関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道



補強土壁工展開図(1)

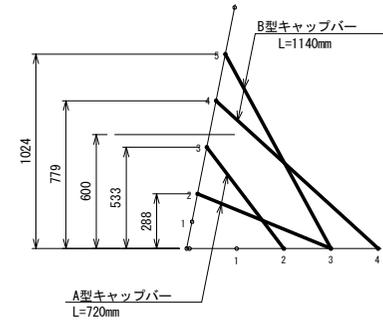
関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道

正面図

S=1/100(A2)
S=1/200(A4縮小時)

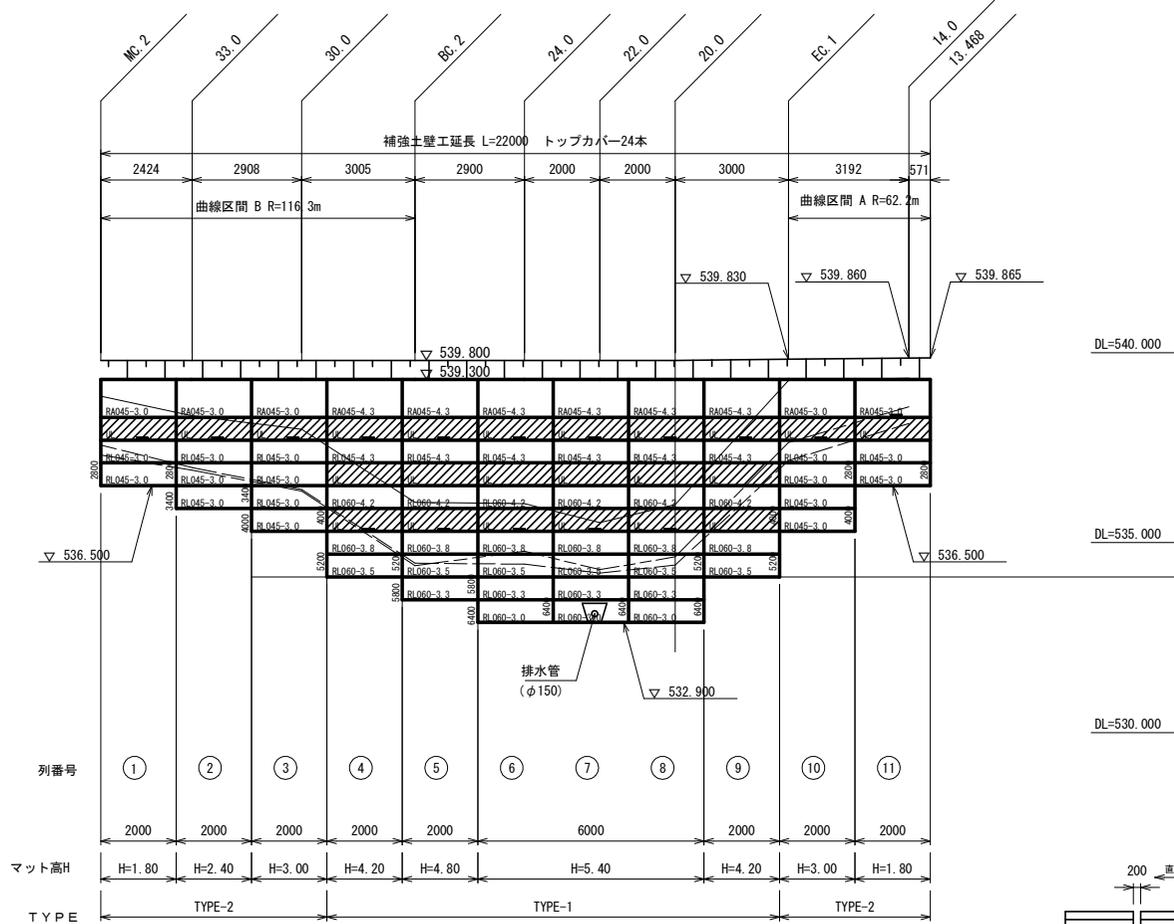
キャップバーS取付図

S=1/20(A2)
S=1/40(A4縮小時)

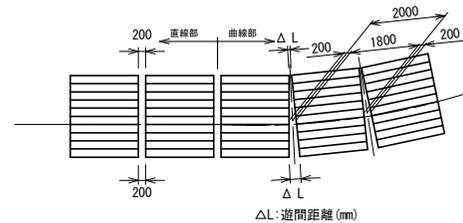


<注意事項>

- ・キャップバーSは調整トップマット1ユニットに対して、A型3本、B型3本を使用し、調整高さが600mmより低い箇所にはA型、高い箇所にはB型を設置する
- ・同様にハーフユニットに対しては、A型2本、B型2本を使用する
- ・フックを掛ける交点の組み合わせは上図を参考にし、必ず縦筋と横筋の交点に掛ける



遊間標準図



- 注：
 ——— は、現況地盤線を表す。
 - - - - - は、埋戻し線を表す。
 - - - - - は、最下段つま先から地山までの水平幅1.0mを想定した線を表す。
 ■■■■■ は、水平排水材(B=300)を表す。
 展開図における補強材の省略記号は、以下の通りである。

壁面材種類	RL	060	4.3	部材長 (m)
RA : VRA	補強材種類	—	—	—
RL : VRL				
UL : VUL				

補強材種類
T T-045~060

但し、VUL、VUM、VUHは壁面強化材兼用の壁面材であり補強材敷設は行わないものとする。

遊間表

曲線R=116.3m

曲線区間内の段数	遊間距離 (ΔL)	備考
8段目	202	
7段目	200	
6段目	198	
5段目	196	
4段目	194	
3段目	192	
2段目	190	
1段目	188	曲線区間内の最下段

注：遊間距離 (ΔL) は、勾配壁面で曲線部の場合における隣り合うマット同士を設置する際の離れ距離である。

遊間表

曲線A R=62.2m

曲線区間内の段数	遊間距離 (ΔL)	備考
4段目	196	
3段目	200	
2段目	204	
1段目	208	曲線区間内の最下段

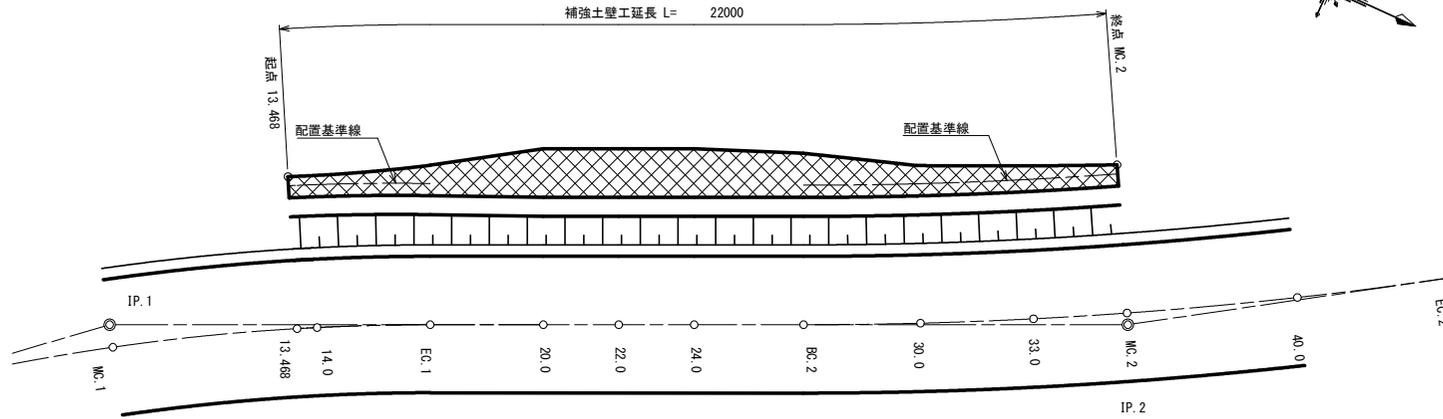
注：遊間距離 (ΔL) は、勾配壁面で曲線部の場合における隣り合うマット同士を設置する際の離れ距離である。

愛鷹(愛鷹)林道			
路線名	愛鷹(愛鷹)林道		
区分	2種2級(旧2級B)	設計速度	20km/h
図面名	補強土壁工展開図(1)		
施工地	静岡県沼津市足高宇尾上441番716外		
年度	令和	年度	縮尺
設計者	(株)森林環境 コンサルタント	製図者	(株)森林環境 コンサルタント
関東森林管理局	静岡森林管理署	NO.	

補強土壁工展開図(2)

関東森林管理局
静岡森林管理署
愛鷹(愛鷹)林道

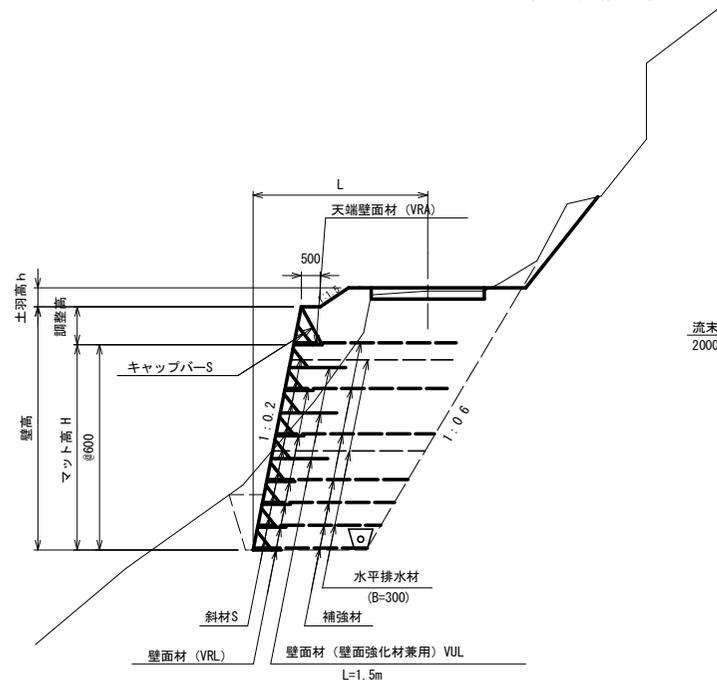
平面図 S=1/100 (A2)
S=1/200 (A4縮小時)



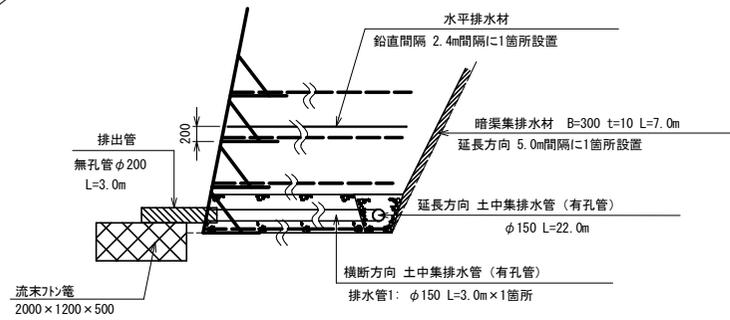
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$		
盛土材の内部摩擦角	$\phi = 35^\circ$		
盛土材の粘着力	$c = 0 \text{ kN/m}^2$		
活荷重	$q_L = 10 \text{ kN/m}^2$		
雪荷重	考慮しない		
設計水平震度	内的	外的	全体安定
	$kH=0.15$	$kH_v=0.11$	$kH=0.10$
類似擁壁の外的安定	単位	常時	地震時
地盤反力	kN/m^2	$Q1=178.183$	$Q1=169.046$
支持力の安全率		$F_s \geq 3.0$	$F_{se} \geq 2.0$
必要な極限支持力	kN/m^2	$q_u=534.549$	$q_u=338.092$

<ul style="list-style-type: none"> 盛土材は以下に示す土質材料もしくは岩石質材料を使用すること。 (土質材料) : 細粒分の含有量が25%以下のもの。 (岩石質材料) : 最大粒径が300mm以下の硬岩すり、もしくはスレーキング率30%以下の軟岩すり、細粒分の含有量が25%以下のもの。 掘削時に切土面からの湧水が著しく多い場合は、別途排水対策を追加すること。 基礎地盤の極限支持力が、上記の必要な極限支持力以上であることを確認すること。

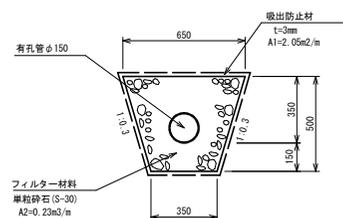
標準断面図 S=1/100 (A2)
S=1/200 (A4縮小時)



排水工標準図 S=1/50 (A2)
S=1/100 (A4縮小時)



土中集排水管 S=1/20



項目(頻度)	
盛土材の締固め度(盛土材500m ³ に1回)	<ul style="list-style-type: none"> JIS A 1210のA, B法による最大乾燥密度の95%以上又は、C, D, E法による90%以上とする。 細粒分含有量が多い場合(20%以上)で上記締固め度が得られない場合は、空気間隙率を13%以下とする。 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	<ul style="list-style-type: none"> $\pm 0.03 \text{ 2H}$および30cm以内、ここで2Hは壁高。

路線名	愛鷹(愛鷹)林道		
区分	2種2級(旧2級B)	設計速度	20km/h
図面名	補強土壁工展開図(2)		
施工地	静岡県沼津市足高宇尾上441番716外		
年度	令和	年度	縮尺
設計者	(株)森林環境 コンサルタント	製図者	(株)森林環境 コンサルタント
関東森林管理局	静岡森林管理署	NO.	